

2023年度
十二月定時總會資料
公益社団法人 会津青年會議所



Junior Chamber International Japan
AIZU

2022年12月27日（火） 19:30～

会津青年會議所会館

目次

2022年度公益社団法人会津青年会議所事業報告	2
2022年度公益社団法人会津青年会議所組織図	3
2022年度スローガン 並びに 事業計画	4
理事長 及び 三役所感	8
2022年度 諸会議・行事報告	13
1. 総会	14
2. 理事会	15
3. 定例会	18
4. 各種会議・行事報告	19
2022年度 事業報告	21
5. 事業・委員会報告	
(ア) 総務委員会	22
(イ) 地域委員会	26
(ウ) 青少年委員会	30
6. 外部団体出向者名簿	34
7. 出向者報告	35
8. 特別委員会報告	40
9. 備品明細	48
10. 2022年度 会計決算報告	50
(ア) 2022年度 社団法人会津青年会議所 一般会計決算書	51
(イ) 正味財産増減計算書	52
(ウ) 正味財産増減計算書 内訳表	55
(エ) 正味財産増減計算書 事業別内訳表 (特別会計内訳)	57
(オ) 貸借対照表	59
(カ) 財産目録	61
(キ) 決算書類に対する注記	62
11. 監査報告書	65
2023年度公益社団法人会津青年会議所 事業計画書	66
2023年度 公益社団法人 会津青年会議所 組織図	67
2023年度 公益社団法人 会津青年会議所 理事長所信	68
2023年度 公益社団法人 会津青年会議所 各委員会 基本方針	
1. (イ) 総務委員会	72
(エ) 地域委員会	73
(オ) 青少年委員会	74
2023年度 公益社団法人 会津青年会議所 会計予算	
1. 2023年度 公益社団法人 会津青年会議所 一般会計予算書	75
2. 正味財産増減計算書	77
3. 正味財産増減計算書 内訳表	80
4. 正味財産増減計算書 事業別内訳表 (特別会計内訳)	82
2023年度 公益社団法人 会津青年会議所 年間スケジュール	84

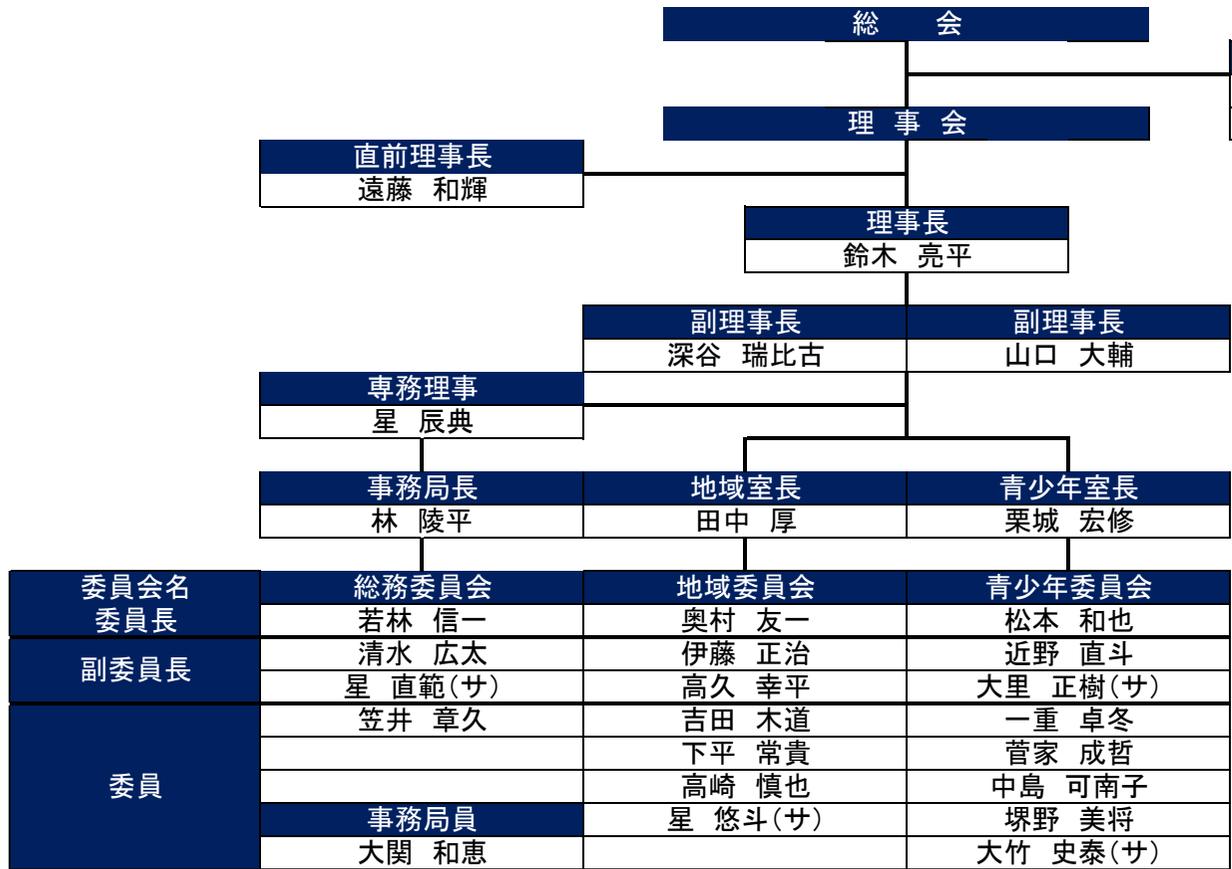
公益社団法人 会津青年会議所

2022年度 事業報告書

自 2021年12月 1日

至 2022年11月30日

2022年度 組織図



外部監事
明田 圭右先輩
二瓶 孝文先輩

(公社)日本青年会議所		
会員発掘会議	委員	星 辰典
(公社)日本青年会議所 東北地区協議会		
組織運動確立会議	委員	山口 大輔
(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会		
アカデミー委員会	委員長	山口 大輔
	総括幹事	林 陵平
	委員	清水 広太
福島の未来創造委員会	幹事	遠藤 和輝
ブロック大会実行委員会	委員	田中 厚
組織連携推進委員会	副委員長	栗城 宏修
	幹事	深谷瑞比古
総務広報委員会	委員	下平 常貴

※(サ)はサポーター会員

理事長所信

第66代理事長 鈴木 亮平

【はじめに】

会津青年会議所は、戦後間もない昭和26年に31名の青年により全国で24番目に福島県初の青年会議所として設立されました。これまで多くの諸先輩方が「明るい豊かな社会」のためにとたゆまぬ努力の中突き進んできた結果、今の私たちの活動の基盤が醸成され、さらには地域を豊かにする支えとなる土壌を築いてこられました。そして昨年度創立70周年を迎え、これまで会津青年会議所運動を支えてくださった諸先輩や、行政・各種団体、地域住民の協力、理解に感謝し、新たな未来へと進んでいきます。

昨今、猛威を振るう新型コロナウイルス感染症によって時代は大きく変わりつつあります。「新日本の再建は我々青年の仕事である」と宣言し、東京にて青年会議所運動が始まり、いつの時代も青年が道を切り開いてきました。その脈々と受け継がれる高い志を時代に合わせ青年会議所としての真価を地域に向け発信しなければなりません。だからこそ私たちは「明るい豊かな社会」のため、歩みを止めることなく、これまでの経験を活かし地域のリーダーたる気概をもって地域課題に取り組み、その先にある笑顔の想像から創造を目指し青年会議所運動に邁進していきます。

【笑顔を共有する会員の拡大】

近年全国的に青年会議所の会員数は減少傾向にあり、会津青年会議所においても例外ではなく大きな課題として挙げられます。会員拡大とは、永続的に組織を存続させるための不変的な活動だけではなく、どれだけ私たちの想いや志が同じ青年世代に伝播しているかという指針でもあると思います。青年会議所には多種多様な業種、魅力ある人財、そして地域を想う志を持った青年たちが集っています。その魅力ある団体であることに自分たちが誇りを持ち、会員一丸となり運動・活動を発信していけば、必ず同じ想いや志を持った青年を惹きつけると考えます。一人でも多くの笑顔を共有する仲間を迎い入れ、会津の未来を創造していきます。

【魅力を発信】

私たちが活動の中心としている会津地方は四季折々の姿を見せる自然や今なお受け継がれる伝統産業、そして鶴ヶ城を中心とした史跡や歴史など数多くの魅力に溢れています。これまで行ってきた私たちの運動・活動も魅力のひとつだと思います。

SNSの浸透によって誰もが発信者となり魅力や情報を届けられる時代へと変わり、低コストで組織の紹介や事業内容を広く周知することが可能となりました。私たちの運動、活動を発信することで地域に届け、浸透させることで繋がりを持ち、地域住民と共に協力し運動を展開する会津青年会議所が、地域において頼られ、求められる団体に成長すると考えます。

【地域課題に立ち向かう】

地方都市は少子高齢化、人口減少、地域経済の縮小などの様々な地域課題を抱える中、昨今の新型コロナウイルス感染症により、経済の低迷、人々の生活の変化、さらには私たちの心にまで影響を及ぼしており、先の見えない状況となっております。このような時代だからこそ私たち青年が先頭に立ち、青年会議所で培われた精神で地域課題に真摯に取り組まなければなりません。特に私たちは青年会議所の一会員であると同時に地域の青年経済人であり、一人ひとり、他者との繋がりの中で見えてくる地域課題に直面しております。一人では解決出来ない事も青年会議所運動を通して向き合っていくことができるのです。また、会津には同じ目的を持った青年他団体があり、持続可能なまちづくりをしていくためにも他団体との連携は重要であり、2020年代運動指針で掲げた「独自性のある会津」の実現に向け、私たちは地域住民の皆様が笑顔でいられるような「明るい豊かな社会」に向け邁進していきます。

【郷土愛溢れた人財育成】

会津の未来を担う人財を育てることは会津青年会議所の使命でもあります。会津において少子高齢化、若者の流出などの課題を抱える中、子どもたちが生まれ育ったまちに魅力を感じなければ、問題は加速し、持続可能なまちづくりを実現することはできません。自分たちのまちは自分たちの手で良くしていこうとする想いを育んでいくことが、これからの会津の未来を創造するためには必要不可欠であると考えます。そのためには会津の自然・文化・歴史さまざまな魅力に触れる機会の創出に取り組み、子どもたちに郷土愛を醸成し、会津を誇りに思う人財の育成をすることです。

持続可能なまちづくりを実現していくためにも、学校でも家庭でもなく私たち青年会議所だからできる事業を通して、子どもたちの成長を間近で感じ、次代に私たちの想いを繋げていきます。

【効率的な組織の構築】

近年、少人数で組織運営をする私たちには、家庭や仕事と多忙の中で行う青年会議所活動において、限りある時間を有効活用するためにも組織運営の効率化が求められています。作業の効率化を図ることで、時間と心に余裕が生まれ、会員間に助け合う心が育まれてきます。また効率的な組織運営のために、会員への情報周知方法や委員会ごとの資料や備品の整理を行い、円滑に活動を取り組める体制を築きます。問題解決を先延ばしにせず、変えるべきところは変えていき時代に取り残される組織にしないためにも、熟考を重ね、より良い運動・活動ができる組織運営にしていきます。

【人との出会いは人生を変える】

青年会議所には出向という機会があります。出向は、福島、東北、全国と同じ志を持った仲間と出会える場所であり、自分自身のネットワークを広げることで、個人の成長へと繋がり、ひいては組織の成長にも繋がります。それこそが青年会議所の強みでもあります。

また、私たち会津青年会議所は昭和56年にむつ青年会議所、平成9年に函館青年会議所と姉妹締結をしており、歴史、文化、ひと、まちなど様々な交流を通じ関係性を構築してきました。人との出会いは学びであり、見識を深め、自己成長の柱を担います。しかし、日々

の活動において、こなすことが目的になっていては成長できません。だからこそ妥協することなく積極的に行動し、人との出会いを通じて自己成長を目指しましょう。

【最後に】

私たち会津青年会議所は昨年創立70年を迎え、受け継がれてきた思いと新たな思いを胸に5年、10年後を見据え更なる一歩を歩み始めています。

本年度のスローガンは「笑顔の想像から創造へ～地域の心を豊かに～」です。目の前にいる人たちを笑顔にできなければ、より良いまちを創造する事はできません。まちの人たちの笑顔を想像し、笑顔が届けられれば、笑顔は連鎖し、周囲を明るくしていくことと確信しています。だからこそ誰のために何のために私たちは運動・活動をしているのかももう一度見つめ直し、行動していくことが重要となります。20歳から40歳までの限られた時間の中で、青年たちが本気で行動すればきっと未来は明るいものになります。

一つひとつの積み重ねが「明るい豊かな社会」への一歩だと信じ、会津青年会議所は希望をもたらす変革の起点として、まちに笑顔を届け、心豊かで持続可能な地域を創る団体として会員一同邁進していきます。

＜基本理念＞

地域課題に取り組み
持続可能なまちづくりを
未来は一つひとつの積み重ね

＜スローガン＞

笑顔の想像から創造へ
～地域の心を豊かに～

＜基本方針及び事業計画＞

1. 会津青年会議所全体として取り組む事業
 - ・ 会員拡大
 - ・ 地域に魅力を発信
 - ・ 創立70周年記念事業の継続
 - ・ 公益社団法人日本青年会議所及び東北地区協議会
福島ブロック協議会への積極的な参加、支援
 - ・ 姉妹青年会議所との交流
2. 会津青年会議所が委員会を通して取り組む事業
 - ・ 地域課題に取り組む事業
 - ・ 青少年に郷土愛を育む事業
 - ・ 組織の効率化を図る事業
3. 会津青年会議所が行政、他団体と協力して行う事業
 - ・ 会津絵ろうそくまつり
 - ・ わんぱく相撲

＜委員会構成＞

1. 事務局
 - ・ 会員拡大
 - ・ 渉外
2. 地域委員会
 - ・ 地域課題に取り組む事業
 - ・ 絵ろうそくまつり
3. 青少年委員会
 - ・ 青少年に郷土愛を育む事業
 - ・ わんぱく相撲大会
4. 総務委員会
 - ・ 総務、広報、財務
 - ・ 総会、理事会など諸会議の運営
 - ・ 会員に関する資料の管理

理事長所感

公益社団法人 会津青年会議所
第 66 代理事長 鈴木 亮平

本年度は「笑顔の想像から創造へ～地域の心を豊かに～」のスローガンを掲げ一年間、会員が一丸となり活動・運動を展開してまいりました。近年は新型コロナウイルス感染症によって、今まで当たり前だと思っていたことも思うようにできずに暗い気持ちに陥ることも多々あったように感じます。青年会議所が掲げる「明るい豊かな社会」とは一つひとつの積み重ねだと思っております。その一つひとつとは、目の前にいる人たちを笑顔にすることであり、笑顔を届けられれば、笑顔は連鎖し周囲の豊かな心を育みます。本年度、まさに「笑顔」を届ける先導として、会員の皆さんに助けられながら一年間理事長職を全うできたと考えております。そして各委員会の皆さんには多くの笑顔溢れる事業を行っていただきました。

総務委員会には「革故鼎新（かくこていしん）」のスローガンのもと少人数での運営が求められている中で、活動の質を落とさずに効率的な組織運営をしていくことを目的に活動されてきました。1月5日の新年会、4月例会には「人財育成セミナー」として講師に北 宏志様をお呼びして今現状青年会議所が抱える問題点である仕事上プレイヤーとして働いているメンバーが多数いる中で、仕事とJCの両立に向けプレイヤーとしてではなく、マネジメントや自分の代わりに仕事ができる社員の教育方法や向き合い方を学び、どうしたら時間を作れるようになるのかを学び、これから仕事やJCとしての組織作りに生かせる例会となりました。11月には納会を開催され出向者報告にはじまり、新入会員の報告、褒賞と一年間を締めくくるに相応しい例会となりました。議事録や総会設営、HP、SNSの更新など縁の下の力持ちとして、総務委員会の皆さんには頑張ってもらいました。本当に一年間ありがとうございました。

青少年委員会には「**Friends for Aizu** ～共に創ろう 会津の未来～」のスローガンのもと新たな体験や出会いを創出し、郷土愛を醸成しながら未来を創造する人財を育成する多くの事業を開催されました。5月には3年ぶりとなるわんぱく相撲あいづ場所を開催され、8月には「鶴ヶ城からの挑戦状」発見！会津の歴史事業として参加された子どもたちが楽しく会津の歴史を知るきっかけづくりとなり、青少年委員会のスローガンを体現する素晴らしい事業となりました。9月事業においても新たな体験、学びを通して考える力を養成することができ、コロナ禍で機会が減少している子どもたちに青年会議所ならではの事業を展開できたと感じました。

多くの委員会を開催し、松本委員長のもと一丸となり例会・事業を進めてくださり、頑張っている姿はとて心に残りました。子どもたちに笑顔を届けてくれた青少年委員会の皆さん一年間ありがとうございました。

地域委員会には「ずっと会津で夢を見よう。」のスローガンのもと会津に住む人、会津を想う人がこの地で夢を見続けられる新たな一步を踏み出せる事業を展開して頂きました。2月の絵ろうそくまつりは残念ながら中止となってしまいましたが、代替案での事業を行い青年会議所らしさをみせてくれました。6月例会では、会津に移住者され活躍している方々をお呼びして、魅力を再認識し課題を抽出するなど多くの学びを得られました。私自身もコーディネーターを務め、勉強にもなり思い出に残る例会となりました。10月例会では、今会津に足りないものとして発信に力を入れ、新たにインスタグラムを学び、会津の魅力（頑張っている移住者）を発信していただきました。発信のツールとしてこれからの活動・運動を地域の方々と繋がれるように使っていきたいと思います。

地域委員会として本当に悩みながら進んだ一年だったと感じました。しかし悩んだ分多くの学びや成長の機会があったように感じられます。奥村委員長の想いを受け継ぎ、ずっと会津で夢を見ていたくなる地域づくりを現役一丸となって創造していきたいと思います。一年間ありがとうございました。

出向では福島ブロック協議会アカデミー委員長山口大輔君をはじめ多くのメンバーに出向して頂きました。11月の出向報告では皆さんから前向きな発表があり、出向の素晴らしさを会員の皆さんにお伝えできたと思います。次年度以降、会津だけに留まらず、多くの成長の機会を自らの手で掴みにいって欲しいと思います。なにより、アカデミー委員長として出向した山口君がこの一年誰よりも頑張り、多くの経験と成長を得てLOMに還元してくれました。この経験はこれからのLOMに必ずいい影響を与えていると思っていますし、私自身もこの頑張りに一年間支えられました。仕事や家族、そしてLOMでの役職と多くの担いがある中、出向して頂きました皆さん一年間誠にありがとうございました。

また、本年度は函館青年会議所との姉妹締結式25周年があり、会津JCOB会の皆様にも多大なるご協力頂きまして開催することができました。我々現役も2年ぶりに交流を深めることができ、改めて姉妹青年会議所の良さを感じる事ができた2日間になりました。しかし、もっといいおもてなしができたんじゃないかと反省点も多々ある例会となりましたが、懇親会ではOBの皆様が楽しく思い出を話されているのを見て、より一層この絆を次世代まで繋げていかなければと感じました。さらにむつ青年会議所とは昨年延期となっていました姉妹締結40周年懇親会を開催させて頂きました。年当初からむつ青年会議所佐藤理事長の熱い思いに応えるべく、懇親を深められたことは青年会議所だからできたとても思い出に残る貴重な経験でした。

一年間「笑顔の想像から創造へ～地域の心を豊かに～」のスローガンを掲げましたが、何より私自身多くの人との出会い、そして会員の皆さんから笑顔を貰い、支えて頂きました。この一年色々な経験や学びの機会がありましたが、これほど「感謝」を感じた年はありませんでした。素晴らしい仲間を支えられ理事長職を全うできたこと、出会った全ての皆様に感謝し、理事長所感に代えさせていただきます。一年間誠にありがとうございました。

三役所感

副理事長所感

副理事長 深谷 瑞比古

初めに、本年度青年会議所運動を推し進めてこられた鈴木亮平理事長をはじめ理事の皆さん、会員の皆さんお疲れ様でした。

本年度は副理事長として、また、地域委員会の担当としての事業を展開し、地域委員会では、「ずっと会津で夢を見よう。」をスローガンに掲げ、奥村友一委員長のもと、会津の魅力を発見・発信する事業をおこないました。本来担当するはずであった、会津絵ろうそくまつりが中止になってしまったことは残念ではありますが、結果、1年を振り返ってみると、地域委員会の活動は本当に良いものであったと感じます。これもひとえに、奥村委員長の人望の為せる業であり、それを支えた田中厚室長、副委員長のおかげと感謝しています。

少ない会員数である現状、これまで以上に会員が一丸とならなければ青年会議所運動を展開できません。本年度参加している会員を見ると、少人数のなかでも一人ひとりが役割を重んじ、責任を全うして取り組む姿勢を強く感じられました。次年度もその思いを持ちながら活動していきたいと思えます。1年間お疲れ様でした。

副理事長 山口 大輔

本年度は、鈴木亮平理事長を支える副理事長の職をお預かりして1年感青年会議所運動活動に取り組んでまいりました。

青少年委員会の担当副理事長ではありましたが、栗城室長、松本委員長に運営を担って頂き、補助的な立場で運営に関与させていただきました。本年の青少年委員会は松本委員長が掲げる「**Friends for Aizu** ～共に創ろう 会津の未来～」スローガンのもと、歴史や自然と通して異学区、異なる学年の友達と触れ合うことを通し様々な学びの機会を提供できたと考えます。オリジナルの事業を2つも構築された委員会の皆様の積極的な運動展開は、青年会議所の本旨に則ったものでした。

一方で、福島ブロック協議会、東北地区協議会への出向の機会もいただき、様々な青年会議所のメンバーと交流を行うことができ当青年会議所の長所、改善すべき点も学ぶことができた1年でした。

このように本年1年間は理事長を支えるべき立場でありましたが、私自身様々な学びの

機会があり成長することができた1年でありました。この立場を与えていただいた鈴木亮平理事長および、支えていただいた全会員に感謝を申し上げ副理事長所感といたします。

専務理事所感

専務理事 星 辰典

本年度は専務理事として、鈴木理事長が掲げる「笑顔の創造から創造へ～地域の心を豊かに～」のスローガンのもとJC運動・活動を推進しました。私は2回目の専務理事ということもあり、JCの会議体の進め方等については把握していたので、会議体の運営については概ねスムーズに出来たと考えております。また、会津エリアが数年後に福島ブロック協議会の運営を任されることを見据え、議案書につきまして新しい手法に挑戦できました。

また、本年は姉妹JCとの交流が多かった年であり、函館青年会議所との姉妹締結25周年式典、むつ青年会議所との姉妹締結40周年懇親会を実施しました。近年コロナ禍で交流ができていなかった姉妹JCとの関わりを多くの会員で交流できたことは非常に良い機会でした。

最後に1年間会員の皆様の支えがあり、会津青年会議所を運営することができました。ありがとうございました。特に2回目の専務理事を任命していただいた鈴木理事長、そして理事のメンバーに感謝申し上げます。

2022年度 諸会議・行事報告

1. 総会

NO	総会名	とき	ところ	議事内容
1	2022年度 十二月定時総会	2021年12月29日	会津青年会議所会館	議案 第一号議案 2021年度事業報告承認の件 第二号議案 2021年度決算承認の件 第三号議案 2022年度理事選任の件 第四～十一号議案 2022年度理事職務分担選任の件 第十二～十四号議案 2022年度監事選任の件 報告事項 1、2022年度事業計画報告の件 2、2022年度予算報告の件
2	2022年度 八月定時総会	2022年8月25日	会津青年会議所会館	議案 第一号議案 2023度理事候補者選出の件 第二号議案 2023度理事長候補者・専務理事候補者選出の件 報告事項 1、2022年度 第一期修正予算報告の件
3	2023度 十二月定時総会	2022年12月27日	会津青年会議所会館	議案 第一号議案 2022年度事業報告承認の件 第二号議案 2022年度決算承認の件 第三号議案 2023年度理事選任の件 第四～九号議案 2023年度理事職務分担選任の件 第十～十一号議案 2023度監事選任の件 報告事項 第一号報告 2023年度事業計画報告の件 第二号報告 2023年度予算報告の件

2. 理事会

NO	とき	会議名	議事内容
1	2021/12/29	第1回理事会	協議事項 なし 審議事項 (イ) 理事選定の件 (ロ) 理事長(代表理事)選定 の件 (ハ) 専務理事(業務執行理事)選定 の件 (ニ) 模擬理事会審議事項一括承認 の件 理事長所信 の件 基本理念 の件 基本方針・事業計画 の件 委員会構成 の件 組織図・出向者決定 の件 理事会日決定 の件 例会開催日決定 の件 外部出向者三役一任 の件 名義後援三役一任 の件 特別委員会設置 の件 総務委員会基本方針 の件 地域基本方針 の件 青少年委員会基本方針 の件 2022年度予算 の件 2020年度新年会 の件 会津絵ろうそくまつり(部分審議) の件 会員資格審議委員会答申(部分審議) の件
2	2022/1/7	第2回理事会	協議事項 (イ) 絵ろうそくまつり事業計画 の件 (ロ) 3月例会 の件 審議事項 (イ) 新入会員入会(松村/矢木) の件 (ロ) 絵ろうそくまつり事業計画 の件
3	2022/2/7	第3回理事会 ハイブリッド開催	協議事項 (イ) 会津絵ろうそくまつり事業計画変更 の件 13. 審議事項 (イ) 会津絵ろうそくまつり事業計画変更 の件 (ロ) 特別委員会追加設置 の件 (ハ) 基本財産等管理委員会付託 の件 (ニ) 褒賞委員会付託 の件 (ホ) J C 会館管理委員会付託 の件 (ヘ) 中期ビジョン策定委員会付託 の件 (ト) 7月例会サポート事業申請(案) の件
4	2022/3/7	第4回理事会	協議事項 (イ) 絵ろうそくまつり修正議案 の件 (ロ) 3月例会 の件 (ハ) 4月例会 の件 (ニ) 第27回わんぱく相撲 の件 審議事項 (イ) 新年会式典報告 の件 (ロ) 絵ろうそくまつり修正議案 の件 (ハ) 例会日変更 の件 (二) 3月例会 の件 (ホ) 理事監事選考委員会 の件
5	2022/4/6	第5回理事会 ハイブリッド開催	協議事項 (イ) 4月例会 の件 (ロ) 第27回わんぱく相撲 の件 (ハ) 6月例会 の件 審議事項 (イ) 新年会式典報告 の件 (ロ) 会津絵ろうそくまつり報告 の件 (ハ) 4月例会 の件 (ニ) 第27回わんぱく相撲 の件 (ホ) 例会日変更 の件 (ヘ) J C 会館管理委員会答申 の件 (ト) 褒賞委員会答申 の件
6	2022/5/6	第6回理事会	協議事項 (イ) 6月例会 の件 (ロ) 7月例会(周年継続事業) の件 (ハ) 8月例会(J C I 函館姉妹締結25周年事業) の件 審議事項 (イ) 新入会員会費減免 の件 (ロ) 6月例会 の件 (ハ) 8月例会(O B への発送文書のみ) の件

NO	とき	会議名	議事内容
7	2022/6/6	第7回理事会	<p>協議事項 (イ) 7月例会(周年継続事業) の件 (ロ) 8月例会(JCI函館姉妹締結25周年事業) の件 (ハ) 青少年事業(8月) の件</p> <p>審議事項 (イ) 新入会員入会(添田将) の件 (ロ) 休会制度利用(中島可南子) の件 (ハ) 基本財産等管理委員会答申 の件 (ニ) 7月例会(周年継続事業) の件 (ヘ) 例会日変更 の件</p>
8	2022/7/6	第8回理事会	<p>協議事項 (イ) 8月例会(JCI函館姉妹締結25周年事業) の件 (ロ) 9月例会 の件</p> <p>審議事項 (イ) 8月例会(JCI函館姉妹締結25周年事業) の件</p>
9	2022/7/10	第1回臨時理事会 ハイブリッド開催	<p>協議事項 (イ) 8月例会(JCI函館姉妹締結25周年事業) の件</p> <p>審議事項 (イ) 8月例会(JCI函館姉妹締結25周年事業) の件</p>
10	2022/8/8	第9回理事会	<p>協議事項 (イ) 9月例会 の件 (ロ) 10月例会 の件 (ハ) 2022年度修正予算 の件</p> <p>審議事項 (イ) 新入会員入会(星直範) の件 (ロ) 3月例会報告 の件 (ニ) 4月例会報告 の件 (ホ) 会員資格審議委員会答申 の件 (ヘ) 8月総会 の件 (ト) 2023年度理事候補者選出 の件 (チ) 2023年度監事候補者選出 の件 (リ) 2023年度代表理事候補者・業務執行理事候補者選出 の件 (ヌ) 9月例会 の件 (ル) 2022年度修正予算 の件</p>
11	2022/9/6	第10回理事会	<p>協議事項 (イ) 10月例会 の件 (ロ) 11月例会 の件□</p> <p>審議事項 (イ) 4月例会報告 の件 (ロ) 6月例会報告 の件 (ハ) 10月例会 の件 (ニ) 例会日変更 の件</p>
12	2022/9/16	第2回臨時理事会	<p>協議事項 (イ) 10月例会 の件</p> <p>審議事項 (イ) 10月例会 の件 (ロ) 例会日変更 の件</p>
13	2022/10/6	第11回理事会	<p>協議事項 (イ) 11月例会 の件□</p> <p>審議事項 (イ) 8月事業報告 の件 (ロ) 11月例会 の件 (ハ) 例会日変更 の件</p>
14	2022/11/7	第12回理事会 ハイブリッド開催	<p>協議事項 無し</p> <p>審議事項 (イ) 9月例会報告 の件 (ロ) 褒賞委員会答申 の件 (ハ) 最終理事会日決定 の件</p>

NO	とき	会議名	議事内容
15	2022/11/29	第13回理事会	<p>協議事項 (イ) 2022年度決算(仮) の件</p> <p>審議事項 (イ) 5月例会わんぱく相撲報告 の件 (ロ) 7月例会70周年継続事業報告(決算額のみ) の件 (ハ) 8月例会JCI函館姉妹締結25周年事業報告の件 (ニ) 10月例会報告 の件 (ホ) 11月例会報告 の件 (ヘ) 基本財産等管理委員会報告 の件 (ト) 中期ビジョン策定委員会答申 の件 (チ) 退会(星悠斗君) の件 (リ) 会員資格審議委員会報告 の件 (ヌ) 総会資料の電磁的方法による発送 の件 (ル) 2023年度事業計画 の件 (ヲ) 2023年度理事選出 の件 (ワ) 2023年度監事選出 の件 (カ) 2022年度決算(仮) の件</p>
16	2022/12/8	第3回臨時理事会 ハイブリッド開催	<p>協議事項 (イ) 2022年度決算 の件</p> <p>審議事項 (イ) 7月例会70周年継続事業報告 の件 (ロ) 理事長及び専務理事、職務文書報告承認 の件 (ハ) 2023年度12月定時総会 の件 (ニ) 2022年度決算 の件 (ホ) 2023年度予算 の件</p>

3. 定例会

N0	月例会	担 当	とき・ところ	内容	
1	12月総会	総務委員会	2021年12月29日(水)	会津青年会議所会館	2022年度十二月定時総会
2	1月例会	総務委員会	2022年1月5日(水)	会津若松ワシントンホテル	2022年度新年会
3	2月例会	地域委員会	2022年2月11日(金) 12日(土)	鶴ヶ城	第23回会津絵ろうそくまつり～ゆきほたる～ テーマ「燈～AKARI～」(中止)
4	3月例会	中期ビジョン策定委員会	2022年3月18日(金)	会津青年会議所会館	「1日目から始める会津青年会議所」
5	4月例会	総務委員会	2022年4月26日(火)	会津青年会議所会館	人財育成セミナー テーマ「社員のモチベーションとパフォーマンスを最大限に引き出す人財育成術」
6	5月例会	青少年委員会	2022年5月8日(日)	あいづ相撲場	第27回 わんぱく相撲 あいづ場所
7	6月例会	地域委員会	2022年6月19日(日)	會津稽古堂 研修室2・3	会津の魅力を発見する事業 テーマ「移住者から学ぶ会津の魅力」
8	7月例会	四役	2022年7月24日(日)	会津地域各所(本部は会津青年会議所会館)	創立70周年記念継続事業「続!会津の宝探し」
9	8月例会	四役	2022年8月20日(土)	会津若松ワシントンホテル	函館青年会議所 会津青年会議所 姉妹締結25周年記念式典ならびに記念事業
10	8月総会	総務委員会	2022年8月25日(木)	会津青年会議所会館	2022年度八月定時総会
11	9月例会	青少年委員会	2022年9月18日(日)	福島県会津自然の家	教室を飛び出そう!自然体験教室
12	10月例会	地域委員会	2022年10月14日(金)	会津青年会議所会館	会津の魅力を発信する事業 「会津で夢を見よう ～SNSで会津の魅力を広げよう～」
13	11月例会	総務委員会	2022年11月15日(火)	ルネッサンス中の島	納会(出向者報告・委員会報告・褒章・理事長総括)

4.事業・行事開催一覧

No	開催日	種別	事業名	講師等	開催場所	担当委員会
1	2021/12/29	総会	2022年度12月定時総会		会津青年会議所会館	総務委員会
2	2022/1/4	事務所開	事務所開き		会津青年会議所会館	理事
3	2022/1/5	例会	公益社団法人会津青年会議所 2022年度 新年会（1月例会）		会津若松ワシントンホテル	総務委員会
4	2022/1/17	新年会	公益社団法人 郡山青年会議所 新年会		郡山市	四役
5	2022/1/21～23	大会	京都会議（ハイブリッド開催）		京都府京都市	全会員
6	2022/1/25	新年会	公益社団法人 福島青年会議所 新年会		福島市	四役
7	2022/1/27	新年会	公益社団法人 仙台青年会議所 新年会		仙台市	四役
8	2022/1/27	新年会	公益社団法人 二本松青年会議所 新年会		二本松市	四役
9	2022/1/28	新年会	公益社団法人 白河青年会議所 新年会		白河市	四役
10	2022/2/4	ブロック	第1回会員会議所会議		いわき市	理事長・専務
11	2022/2/5	ブロック	福島ブロック協議会 新春のつどい・アカデミー開校式		いわき市	全会員
12	2022/2/26	例会	第16回会津絵ろうそくまつり 子ども行燈撮影（2月例会）		鶴ヶ城	地域委員会
13	2022/3/4	ブロック	第2回会員会議所会議		相馬市	理事長・専務
14	2022/3/18	例会	3月例会「1日目から始める会津青年会議所」		会津青年会議所会館	四役
15	2022/4/7	ブロック	第3回会員会議所会議		本宮市	理事長・専務
16	2022/4/23	ブロック	しゃくなげカップ		いわき市	全会員
17	2022/4/26	例会	4月例会 人財育成セミナー	北 宏志氏	会津青年会議所会館	総務委員会
18	2022/5/7	ブロック	第4回会員会議所会議		会津坂下町	理事長・専務
19	2022/5/8	例会	5月例会 第27回わんぱく相撲あいづ場所		総合運動公園 相撲競技場	青少年委員会
20	2022/5/13	日本	会頭公式訪問		いわき市	全会員
21	2022/5/27～29	日本	ASPAC 堺高石大会		大阪府	全会員
22	2022/6/12	ブロック	U-11JCカップ		須賀川市	理事長・専務
23	2022/6/18	ブロック	JC野球大会		浪江町	全会員
24	2022/6/19	ブロック	わんぱく相撲 福島ブロック大会in会津		総合運動公園 相撲競技場	青少年委員会
25	2022/6/19	例会	6月例会 会津の魅力を発見する事業	岩波 聡子氏 佐々木 智子氏 伊藤 大翔氏	稽古堂	地域委員会
26	2022/6/26	事業	会館清掃		会津青年会議所会館	総務委員会
27	2022/7/2	ブロック	第5回会員会議所会議		二本松市	理事長・専務
28	2022/7/2～3	ブロック	第52回福島ブロック大会in二本松		二本松市	全会員
29	2022/7/15～17	日本	サマーコンファレンス		横浜市 パシフィコ横浜	全会員
30	2022/7/22	事業	会津4JC異業種交流会		猪苗代町	会津エリア
31	2022/7/24	例会	7月例会 続！会津の宝探し		会津若松市	四役
32	2022/8/11	事業	8月事業 鶴ヶ城からの挑戦状 発見！会津の歴史事業		鶴ヶ城	青少年委員会
33	2022/8/20	例会	8月例会 JCI函館姉妹締結25周年式典		会津若松市	四役
34	2022/8/25	総会	2022年度8月定時総会		会津青年会議所会館	三役、総務委員会
35	2022/8/26～28	日本	全国城下町シンポジウムin福山		広島県	全会員
36	2022/9/1	ブロック	第6回会員会議所会議		浪江町	理事長・専務
37	2022/9/3～4	東北	東北青年フォーラムin栗原		宮城県	全会員
38	2022/9/10	清掃	グリーン清掃		会津若松駅	総務委員会
39	2022/9/18	例会	9月例会 教室を飛び出そう！水辺の体験学習		会津自然の家	青少年委員会
40	2022/9/23	会津まつり	会津まつり		鶴ヶ城	全会員
41	2022/9/23	会津まつり	むつ青年会議所姉妹締結40周年懇親会		会津若松市	全会員
42	2022/10/3	ブロック	第7回会員会議所会議		猪苗代町	理事長・専務

No	開催日	種別	事業名	講師等	開催場所	担当委員会
43	2022/10/7～9	日本	全国大会inおおい		大分県	全会員
44	2022/10/14	例会	10月例会 会津の魅力を発信する事業	久光 真佑美氏	会津青年会議所会館	地域委員会
45	2022/10/22～23	事業	むつ青年会議所交流事業		むつ市	全会員
46	2022/10/22	周年	一般社団法人 会津坂下青年会議所 創立45周年式典		会津坂下町	全会員
47	2022/10/29	ブロック	第8回会員会議所会議		白河市	理事長・専務
48	2022/10/30	事業	わんぱく相撲 男子全国大会		東京都	理事長・青少年委員会
49	2022/11/15	例会	11月例会 納会		ルネサンス中ノ島	総務委員会
50	2022/11/27	ブロック	第9回会員会議所会議		いわき市	理事長・専務
51	2022/11/27	ブロック	福島ブロック協議会 事業報告会・卒業式		いわき市	全会員
52	2022/12/1	OB	会津JCOB会 総会		ルネサンス中ノ島	理事
53	2022/12/16	会津4JC	会津4JC卒業式		会津若松市	全会員
54	2022/12/27	総会	2023年度12月定時総会		会津青年会議所会館	総務委員会

2022年度 事業報告

総務委員会

事務局 林 陵平
委員長 若林 信一
副委員長 清水 広太
副委員長 星 直範

事務局長所感

本来事務局長の役割は総務委員会担当室長かつ専務補佐・代行をするのが担いだと考えてました。しかし、専務としての業務を行うまでの余裕はなく専務を補佐する役割を果たせなかったことが後悔として残りました。若林委員長も時間がない中でも仕事の合間をみて少しずつ作業を進めていましたが、室長は委員長をはじめ委員会に全体スケジュールをもとに期限に間に合うよう促進することがなかなかできなかったことも反省でした。

総務委員会はメンバーが少ないながらもそれぞれが自分の役割を意識して委員長を支える行動することが出来ていたように感じました。それが次年度の組織にも反映されており、副委員長2名が次年度委員長を引き受けたことにあらわれていると考えました。

なんとか1年間事業をやり切ることが出来たのは委員長と副委員長が委員会として一丸となって進めてきたことに加え理事メンバー、他委員会メンバーの支えがあったことだと感じる一年となりました。

不手際、準備不足で迷惑をおかけしましたが1年間ご協力ありがとうございました。

事業計画

1月例会：新年会
4月例会：人財育成
11月例会：納会

委員長所感

総務委員会委員長二回目でもわからないことだらけの1年間でした。

委員のメンバーに支えてもらって今年度やり切れたと思います。近年はウイルスの影響で例会や事業がやれなかったり縮小したりでしたが3例会やりきることができました。

1月の新年会は委員のメンバーが少なく他の委員会の皆さんに手伝ってもらい良い例会にできたと思っています。

4月例会は私の準備不足もありギリギリまで内容をまとめて実施いたしました。ですが講師の内容に共感して質問、悩みなどが出て今後の活動に意味のある例会になったと思います。

11月例会では皆さん忙しい中で作業、準備を手伝っていただき無事に開催できました。

本年度最初から最後までバタバタさせてしまい申し訳ございませんでした。

事業活動報告

事業名 新年会(1月例会)	開催日時 2022年1月5日(水)
参加予定人数 正会員 23名 一般 331名	協力団体 特になし
参加人数 正会員 17名 一般 78名	参加率 全体率 26.8% 正会員参加率 73.9%
公益事業目的該当項目他2	
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム
我々(公社)会津青年会議所は、本年新たなスタートを踏み出します。本新年会は、2022年度のお披露目の場であるとともに、これまで諸先輩方が積み重ねてきた青年会議所運動を、地域を代表する来賓に知ってもらい絶好の機会となります。そして更なる(公社)会津青年会議所の発展のため、様々な団体や、特別会員からご協力を頂戴しなければなりません。 年頭に際し、(公社)会津青年会議所は、常日頃より我々の青年会議所運動にご理解、ご協力を頂いている方々を新年会にお招きし、感謝を伝え、2022年度の(公社)会津青年会議所の運動方針を発表する場が必要と考えます。	2021年 10月30日 会場打ち合わせ(一回目) 11月 4日 第2回模擬理事会 11月15日 第3回模擬四役会 11月15日 会場打ち合わせ 11月25日 第3回模擬理事会 11月下旬 第4回模擬四役会 12月上旬 第4回模擬理事会 12月上旬 招待状発送 12月中旬 正会員・特別会員・招待客返信締め切り 12月下旬 全体リハーサル (25日印刷会社へ提出、27日校正、28日修正提出、29日納品) 12月下旬 総務委員会 会場・代表幹事 最終打合せ・備品準備 2022年 1月 5日 新年会当日 1月上旬 委員会(事業報告書作成) 1月上旬 委員会(事業報告書作成) 1月下旬 第3回四役会 協議 2月上旬 第3回理事会 報告上程
事業所見	
昨年同様、コロナ禍ということもあり、人数制限、内容変更、検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスをとっての開催となりました。初めて会場を分けての開催となり至らない点がありましたが、大きな問題もなく、新年会が開催でき次年度につながる発表の場になったと思います。2回目の総務委員会委員長にもかかわらず私に至らない点が多く多大なる皆さんの協力と的確なアドバイスによりやりきることができました。	
協力団体	
無し	

事業活動報告

事業名 4月例会(人財育成)	開催日時 2022年4月26日(火)
参加予定人数 正会員 25名 一般 0名	協力団体 特になし
参加人数 正会員 14名 一般 0名	参加率 全体率 56.0% 正会員参加率 56.0%
公益事業目的該当項目他1	
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム
今年度、会津青年会議所は23名でのスタートとなり、一人ひとりの作業負担が増えているのが現状にあり、JC活動に参加したくても社業を抜けられない会員の多くは、社内において重要な職務を担っており、職務を代わられる人財が不足している事が問題です。 大事な作業に追われることが多くそのため時間が作れず人財育成を実施できておらず、作業負担が増える悪循環になっていると考えます。そのことから人財育成の重要性を改めて認識して改善していくことが求められています。 それにより人財が育つことで時間に余裕ができ、効率的な活動、円滑な組織運営にしていく事ができると考えます	2022年 2月 2日 講師打ち合わせ(一回目) 2月 7日 第3回理事会報告 2月24日 第3回四役会 2月28日 講師打ち合わせ(二回目) 3月 7日 第4回理事会(協議) 3月15日 講師打ち合わせ(三回目) 4月 6日 第五回理事会(審議) 4月15日 講師最終打ち合わせ(四回目) 4月23日 会館にて例会練習・準備 4月26日 例会当日 5月下旬 第6回四役会 協議 6月 6日 第7回理事会 報告上程

事業所見
今回の例会を通して参加していただいた皆様が講演から何かを得て、人財育成によって会社が変われる(働きやすい環境)動きをこれから考え実行していくかと思えます。 自由記載でも積極的に意見を頂き今後の社業、JC活動で参考にしながら取り入れていけるものだと考えます。今後OBの方や同じ志の元会津で活動をしている団体の皆さんとこのような講演を企画し会津全体で向上させていく事が大事になっていくと考えます。
協力団体
無し

事業名 納会(11月例会)	開催日時 2022年11月15日(火)
参加予定人数 正会員 27名 一般 0名	協力団体 特になし
参加人数 正会員 19名 一般 0名	参加率 全体率 70.4% 正会員参加率 70.4%
公益事業目的該当項目他2	
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム
本年度(公社)会津青年会議所は、「笑顔の想像から創造へ」のスローガンの下、明るい豊かな社会を創造するために日々活動して参りました。今日までの活動を次年度へと継承し、(公社)会津青年会議所として我々一人一人が更なる飛躍に向けて、今年一年の青年会議所活動を振り返り、未来へ向けた一歩を踏み出すことが必要と考えます。	8月 1日 委員会 8月 24日 第9回三役会 9月 6日 第10回理事会 9月 12日 委員会 9月 20日 委員会 9月 日 第10回三役会 10月 6日 第10回理事会 協議・審議 10月10日 総務委員会・発送文書 10月27日 委員会 10月30日 委員会・リハーサル 11月 1日 委員会・リハーサル 11月 月初 委員会・全体リハーサル 11月 8日 委員会・例会準備 11月15日 11月例会 11月 下旬 事業報告
事業所見	
本例会では、昨年と同様に本年の活動報告を当日の資料として配布した。事前に出向者、各委員会、新入会員それぞれに依頼し、記入してもらった。出向者報告1名については作成していただけなかった。 成果としては、出向者・各委員会の今年度の反省、次年度への引継ぎについて報告があることによって、今後のJC活動に活かせる内容だった。褒賞委員会での表彰では表彰されたメンバーだけでなく、その周りのメンバーも刺激を受け、今後のJC運動への活力とすることができた。	
協力団体	
無し	

総務委員会 事業収支決算書

(単位:円)		1月例会			4月例会			11月例会		
項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	予 算 額	決 算 額	差 異	予 算 額	決 算 額	差 異	
(収入の部)		(収入の部)			(収入の部)			(収入の部)		
1. 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 受取会費	150,000	120,230	29,770	72,000	70,744	1,256	11,000	11,000	0	
4. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5. 受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6. 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8. 雑収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収入合計(1)	150,000	120,230	29,770	72,000	70,744	1,256	11,000	11,000	0	
(支出の部)		(支出の部)			(支出の部)			(支出の部)		
1. 給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4. 通信運搬費	53,067	55,230	△ 2,163	252	84	168	0	0	0	
5. 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6. 消耗品費	11,000	10,000	1,000	0	0	0	0	0	0	
7. 印刷製本費	73,865	44,000	29,865	0	0	0	0	0	0	
8. 広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9. 燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10. 光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11. 貸借料	11,000	11,000	0	0	0	0	11,000	11,000	0	
12. 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13. 諸謝金	0	0	0	70,000	70,000	0	0	0	0	
14. 租税公課	0	0	0	200	0	200	0	0	0	
15. 委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16. 渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17. 記念品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18. 雑費	1,068	0	1,068	770	660	110	0	0	0	
19. 預かり金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20. 予備費	0	0	0	778	0	778	0	0	0	
支出合計(2)	150,000	120,230	29,770	72,000	70,744	1,256	11,000	11,000	0	
収支差額(1)-(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

地 域 委 員 会

室 長 田中厚
委 員 長 奥村友一
副 委 員 長 伊藤正治
副 委 員 長 高久幸平

室長所感

本年度、地域委員会の室長として一年間を事業の構築をサポートさせていただきました。奥村委員長のポテンシャルをすべて引き出せたとは言えませんが、地域委員会として、舵を取った方に無事に到着できたのではと思います。

委員会メンバーも精力的に参加していただき、楽しく様々な話を広げることができました。考えて生み出す苦勞の部分はずっと委員長が一人で背負い、次までに形にしてくれたからこそ一年間乗り切ることができたと思います。

特に、6月例会と10月例会では、会津への移住者、Uターン者に注目して、一つの傾向と対策が打ち出せたと思います。

一年間の活動を支えて頂いた理事メンバー、委員メンバー、朝夕と精力的に動いていただいた奥村委員長に感謝いたします。
ありがとうございました。

事業計画

2月例会：第23回会津絵ろうそくまつり
6月例会：会津の魅力を発見する事業
10月例会：会津の魅力を発信する事業

委員長所感

最後の1年ということで、理事を引き受けさせていただきました。何もかもが初めての経験で、委員メンバー、理事メンバーの皆さまにはご迷惑をお掛けしたことと思います。そんな中、絵ろうそくまつりの計画・準備を進めていきました。事業のゴールは見えているものの、次から次に壁があらわれてくるように感じていました。スタートの段階で全体像を把握しておく必要性を学びました。しかしながら、開催直前の中止決定。それでも、中止が決まった当日に理事メンバーで集まり、代替案を協議し実施できたこと、これはある意味、絵ろうそくまつり本体よりも意味のある事業だったと当時思いました。事業開催にあたり、考えられるあらゆる可能性を想定して計画することの重要性を学びました。

6月例会・10月例会開催にあたっては、会津に移住された方々と交流する機会を作ることができ、自分自身の経験を積み、視野を広くすることが出来ました。パネラーや一般の方の参加を募っての事業においては、主に設えの面が課題でした。会場に来られた方全員に不安を感じさせないよう、委員会内では誰が何を担当するのか、細かく決めておく必要がありました。

事業活動報告

事業名	第23回会津絵ろうそくまつり	開催日時	2022年2月11日(金)
参加予定人数	正会員 23名 一般 0名	協力団体	絵ろうそくまつり実行委員会、公立大学法人 会津大学 大学部 産業情報学科 デザイン情報コース、県立葵高等学校 美術工芸部
参加人数	正会員 14名 一般 0名	参加率	全体率 60.9% 正会員参加率 60.9%
公益事業目的該当項目	公1		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
行動が制限されている昨今、絵ろうそくまつりを通して会津の観光名所である鶴ヶ城・御薬園に来場してもらい、歴史や文化に触れてもらうことを目的に開催する	2021年11月12月立案・準備 2022年1月19日 LOM全体説明会 1月30日 親子ろうそく絵付け体験→中止 2月3日 運営ボランティア説明会→中止 2月11日・12日 会津絵ろうそくまつり→中止 2月13日 会場清掃→中止 2月後半 参加者合同反省会→中止 2月10日 絵付け用ろうそくの郵送作業 2月26日 こども行燈の撮影作業		
事業所見	会津絵ろうそくまつりは中止となったが、自宅での絵付け体験や幼稚園児・保育園児による子ども行燈撮影実施を通して、子どもたちが学び、体験する機会を作ることができた。代替案実施によって絵ろうそくまつりを楽しむにしている方がいるということを実感できた。 また、これら会津青年会議所としての事業を新聞やHP・FBに掲載したことで、会津青年会議所としての運動を市民に周知することができた。		
協力団体	絵ろうそくまつり実行委員会、公立大学法人会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース、県立葵高等学校美術工芸部		

事業活動報告

事業名	会津の魅力を発見する事業	開催日時	2022年6月19日(日)
参加予定人数	正会員 25名 一般 50名	協力団体	特になし
参加人数	正会員 15名 一般 27名	参加率	全体率 56.0% 正会員参加率 60.0%
公益事業目的該当項目	公1		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
若い世代の人々が地域の魅力と課題に気づき、住みたくなるまちを創造することで、会津で夢を追う人が増える地域になるようにこの事業を展開する。	2022年4月5月立案・準備 6月19日 13時00分 会場集合・設営 14時35分 セレモニー開始 14時45分 開場 15時00分 第一部トークセッション開始 16時00分 第一部終了 16時05分 第二部ワークショップ開始 16時07分 各自取組み・隣席と内容の交換 16時30分 5分休憩 16時35分 第二部の発表(こちらで何個かピックアップ) 16時50分 質疑応答～講評 17時00分 閉会・監事講評		
事業所見	「移住者から学ぶ会津の魅力」をテーマに会津に移住して活躍されている方3名を招いてのトークセッションでした。 「住みたくなる会津とは何か。その実像を掴む」ためにトークセッション後にワークショップとアンケートを実施した。 参加者全員が目的意識を持って参加されている方が多く、開催意義を改めて強く感じた。 それゆえに、参加者によるワークショップは隣の席同士ではなく、グループで行うことが望ましかった。 パネラーの方3名も、会津への想いを熱く語っていただき、こちら側も聞き入ってしまう内容だった。		
協力団体	福島県会津地方振興局 ハタコーポレーション株式会社(JC応援企業)		

事業名 会津の魅力を発信する事業		開催日時 2022年10月14日(金)	
参加予定人数	正会員 27名 一般 5名	協力団体 特になし	
参加人数	正会員 15名 一般 5名	参加率 全体率 62.5% 正会員参加率 55.6%	
公益事業目的該当項目 公1			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
<p>私たち青年会議所会員が、移住して輝いている人の姿を通して会津の魅力を地域内外に届け、会津で夢を見たいと思う人が増える地域になるように、この事業を展開する。</p>		<p>2022年8月9日立案・準備 18:00 会場集合・設営 18:30 参加メンバー集合 19:00 セレモニー開始 19:10 開場 19:20 開会の挨拶 19:22 趣旨説明 19:27 講師紹介 19:30 第一部開始 20:10 第一部終了～休憩 20:15 第二部開始 21:00 第二部終了～発表</p>	
事業所見			
<p>一般参加者には50歳以上の方もいたことを考えると、Instagramに関心がある幅広い世代の方が学ぶ機会となった。言い換えると、あらゆる世代の方がSNSに関心があると裏付けられたと思う。当日のスケジュールに関しては、タイムスケジュールの打ち合わせが不十分で、時間をオーバーしてしまい、ワークショップが実施できなかったことが反省。Instagram掲載用に6人の移住者へアンケート取材訪問を実施。皆さま快諾していただき、対象者への効果はあったと考える。全体のスケジュールに余裕がない中で動いていたので、Instagram掲載後の社会効果は不明瞭ではあるが、会津青年会議所のInstagramを開設したことで、より青年会議所の存在が地域と近くなることを期待する。</p>			
協力団体			
無し			

地域委員会 事業収支決算書

(単位:円)									
項目	2月例会 会津絵ろうそくまつり			6月例会 会津で夢を見よう～会津の魅力発見			10月例会 会津で夢を見よう～SNSで会津の魅力を広げよう		
	予算額	決算額	差異	予算額	決算額	差異	予算額	決算額	差異
(収入の部)	(収入の部)			(収入の部)			(収入の部)		
1. 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取会費	0	0	0	55,000	54,574	426	5,500	5,388	112
4. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 受取補助金等	40,000	0	40,000	0	0	0	0	0	0
6. 受取負担金	3,200,000	2,431,863	768,137	0	0	0	0	0	0
7. 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計(1)	3,240,000	2,431,863	808,137	55,000	54,574	426	5,500	5,388	112
(支出の部)	(支出の部)			(支出の部)			(支出の部)		
1. 給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 通信運搬費	0	0	0	1,264	1,502	△ 238	588	588	0
5. 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 消耗品費	2,197,206	2,188,070	9,136	0	0	0	0	0	0
7. 印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 広報費	169,103	169,103	0	33,000	33,000	0	0	0	0
9. 燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11. 賃借料	6,600	0	6,600	2,000	2,000	0	0	0	0
12. 保険料	61,770	0	61,770	0	0	0	0	0	0
13. 諸謝金	0	0	0	18,072	18,072	0	4,800	4,800	0
14. 租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15. 委託費	419,320	74,690	344,630	0	0	0	0	0	0
16. 渉外費	352,320	0	352,320	0	0	0	0	0	0
17. 記念品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 雑費	0	0	0	0	0	0	112	0	112
19. 預かり金支出	33,681	0	33,681	0	0	0	0	0	0
20. 予備費	0	0	0	664	0	664	0	0	0
支出合計(2)	3,240,000	2,431,863	808,137	55,000	54,574	426	5,500	5,388	112
収支差額(1)-(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

青少年委員会

室長 栗城 宏修
委員長 松本 和也
副委員長 近野 直斗
副委員長 大里 正樹

室長所感

室長記入

本年度は青少年委員会担当室長として「Friend for Aizu ～共に創ろう 会津の未来～」のスローガンのもと、会津の明るく豊かな未来を創造する人財を育てていくことを目的に事業を展開し、サポートしてまいりました。担当副理事長、委員長と連携を取り、事前準備に多くの時間をとったことで議案作成や事業運営、報告書作成に至るまで年間スケジュールに沿った行動ができたと思います。また、事業内では多くの子どもたちの笑顔がみられ、鈴木理事長が掲げた「笑顔の想像から創造へ ～地域の心を豊かに～」を体現でき、私にとっても達成感に溢れた一年間になりました。この経験を糧にJCライフ最後の一年、後悔がないよう全力で駆け抜けていきます。このような貴重な機会を与您いただきました鈴木理事長、一年間支えていただいた理事の方々、青少年委員会の方々本当にありがとうございました。

事業計画

- ・ 5月例会 わんぱく相撲あいづ場所
- ・ 8月事業 鶴ヶ城からの挑戦状 発見！会津の歴史
- ・ 9月例会 教室を飛び出そう！ 水辺の体験学習

委員長所感

青少年委員会ではこの一年間、「Friend for Aizu ～共に創ろう 会津の未来～」をスローガンに活動してまいりました。

実施事業としては、5月例会に3年ぶりに開催となる「わんぱく相撲あいづ場所」、3月に開催できず延期開催となった8月事業「鶴ヶ城からの挑戦状 発見！会津の歴史」、9月例会「教室を飛び出そう！水辺の体験学習」を行いました。

新型コロナウイルス感染症等の影響で子どもたちの環境は大きく変化している世の中ではありますが、体験の機会や出会いが、子どもたちの成長には必要であると考え事業を実施してきました。上記の各種事業では、基本方針に合致した内容で事業を遂行できたと考えます。

委員会運営では初めての委員長ということもあり、不慣れではありましたが担当四役の山口副理事長、栗城室長の的確な助言やバックアップがあり、大変助かりました。また、積極的に参加してくれた委員の皆さんのお陰で一年間活動できたと思います。

事業活動報告

事業名 5月例会 わんぱく相撲あいづ場所		開催日時 2022/5/8
参加予定人数 正会員 25名 一般 50名	協力団体 会津相撲協会、会津相撲クラブ、会津若松市教育委員会	
参加人数 正会員 11名 一般 18名	参加率 全体率 38.7% 正会員参加率 44.0%	
公益事業目的該当項目 5条(2)教育、スポーツ等を通じて次世代を担う子どもたちの健全なる心身の発達をはかると共に、豊かな人間性を育み国や地域を牽引する人材を育成する事業。		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム	
わんぱく相撲を通して、仲間と共に努力する場を提供し、練習の過程において努力することの大切さを認識してもらい、今後他の場面でも実践できる精神力を身に付けてもらうことを目的に開催しました。	2月中旬 会津相撲協会、会津相撲クラブと打ち合わせ 4月中旬 各学校へチラシ配布 4月下旬 星取表作成 5月8日 わんぱく相撲あいづ場所 6月19日 わんぱく相撲福島ブロック大会 8月21日 わんぱく相撲女子全国大会 10月29・30日 わんぱく相撲全国大会	
事業所見 新型コロナウイルス感染症により、3年ぶりに開催されたわんぱく相撲あいづ場所でした。委員長自身わんぱく相撲に参加した経験がなく、当日の段取りから準備まで大変でした。しかしながら、相撲協会の協力や保護者さんから感謝の言葉をいただき、大変良い事業ができたと感じました。また、男子全国大会には会津から3人の子どもが出場しました。		
協力団体 会津相撲協会、会津相撲クラブ、会津若松市教育委員会		

事業活動報告

事業名 8月事業 鶴ヶ城からの挑戦状 発見！会津の歴史		開催日時 2022年8月11日
参加予定人数 正会員 25名 一般 120名	協力団体 会津若松市教育委員会、会津若松観光ビューロー	
参加人数 正会員 11名 一般 37名	参加率 全体率 33.1% 正会員参加率 44.0%	
公益事業目的該当項目 5条(2)教育、スポーツ等を通じて次世代を担う子どもたちの健全なる心身の発達をはかると共に、豊かな人間性を育み国や地域を牽引する人材を育成する事業。		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム	
子どもたち同士の新たな出会いの機会の提供を行うとともに、会津の歴史や文化に触れる機会を提供することで郷土愛の醸成を目的とし開催しました。当日は鶴ヶ城を舞台にメンバーと子どもが交流しながら歴史クイズを行いました。	6月初旬 会津若松市教育委員会と打ち合わせ 6月初旬 会津若松観光ビューローと打ち合わせ 6月中旬 現地確認 6月中旬 会津若松観光ビューローと打ち合わせ(クイズ及びミッション内容) 6月下旬 市内小学校へチラシの配布 7月中旬 委員会メンバーでの当日を想定したシミュレーション 8月初旬 備品準備	
事業所見 本年度、青少年委員会で考えたオリジナルの事業でした。本来3月例会に行う予定でしたが、学校での感染拡大により8月事業として行いました。当日は、子ども同士の交流や会津の歴史・文化を学び、有意義な事業となりました。8月に屋外での事業ということで、参加したメンバーには大変負担をかけましたが、子どもたちから「楽しかった」や「会津の歴史について学べた」といった意見が多くありました。		
協力団体 会津若松市教育委員会、会津若松観光ビューロー		

事業名 9月例会「教室を飛び出そう！水辺の体験学習」		開催日時 2022年9月18日	
参加予定人数 正会員	26名	一般	30名
協力団体		会津自然の家、阿賀川・川の達人の会、会津若松市教育委員会	
参加人数 正会員	10名	一般	13名
参加率 全体率		41.1%	
正会員参加率		38.5%	
公益事業目的該当項目 5条(2)教育、スポーツ等を通じて次世代を担う子どもたちの健全なる心身の発達をはかると共に、豊かな人間性を育み国や地域を牽引する人材を育成する事業。			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
水辺の体験学習を行うことで、実体験を通じた学びの機会を提供し、身の回りの出来事に自発的に興味を持つ人材を育成することを目的に開催しました。当日は、会津自然の家を会場に阿賀川・川の達人の会の二瓶重和講師をお呼びし、水辺の生き物を学び、カヌーに乗り水面を観察し、カレー作りを行い、一日の振り返りとして子どもたち自身で水辺の生き物にまつわるクイズと答えを作成しました。		6月17日 会津若松市教育委員会へ事業実施の相談 6月21日 少年自然の家及び講師打ち合わせ 6月28日 講師打ち合わせ 7月12日 自然の家打ち合わせ 7月20日 講師打ち合わせ 7月28日 講師打ち合わせ	
事業所見			
青少年委員会のオリジナル事業第二弾として、会津の自然をテーマに会津自然の家を会場に事業を行いました。計画時点での場所の選定から事業内容の計画を考えるのが大変でした。委員会メンバーで事前調査やカレー作りを行い、当日の準備を行い、青少年事業の締めくりにふさわしい事業になったと感じました。			
協力団体			
会津自然の家、阿賀川・川の達人の会、会津若松市教育委員会			

青少年委員会 事業収支決算書

(単位:円)	5月例会 わんぱく相撲あいづ場所			8月事業 鶴ヶ城からの挑戦状発見!会津の歴史			9月例会 教室を飛び出そう!水辺の体験学習		
項 目	予 算 額	決 算 額	差 異	予 算 額	決 算 額	差 異	予 算 額	決 算 額	差 異
(収入の部)	(収入の部)			(収入の部)			(収入の部)		
1. 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取会費	210,120	141,483	68,637	70,000	61,240	8,760	53,500	41,160	12,340
4. 事業収益	25,000	9,000	16,000	14,400	3,840	10,560	17,500	7,500	10,000
5. 受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 受取負担金	89,880	0	89,880	0	0	0	0	0	0
7. 受取寄付金	0	0	0	55,000	55,000	0	20,000	20,000	0
8. 雑収	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収入合計(1)	325,000	150,483	174,517	139,400	120,080	19,320	91,000	68,660	22,340
(支出の部)	(支出の部)			(支出の部)			(支出の部)		
1. 給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 旅費交通費	193,920	32,540	161,380	0	0	0	0	0	0
4. 通信運搬費	4,200	0	4,200	0	0	0	0	0	0
5. 消耗什器備品費	0	0	0	6,600	6,600	0	0	0	0
6. 消耗品費	9,450	4,290	5,160	9,692	9,480	212	0	0	0
7. 印刷製本費	29,700	29,700	0	82,500	82,500	0	44,000	44,000	0
8. 広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11. 貸借料	2,800	3,213	△ 413	0	0	0	10,200	4,300	5,900
12. 保険料	12,800	12,800	0	3,600	3,600	0	9,860	9,860	0
13. 諸謝金	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	0
14. 租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15. 委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 渉外費	40,000	40,000	0	14,400	3,840	10,560	21,600	5,500	16,100
17. 記念品費	26,680	26,790	△ 110	21,120	13,620	7,500	0	0	0
18. 雑費	1,150	1,150	0	0	440	△ 440	0	0	0
19. 預かり金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20. 予備費	4,300	0	4,300	1,488	0	1,488	340	0	340
支出合計(2)	325,000	150,483	174,517	139,400	120,080	19,320	91,000	68,660	22,340
収支差額(1)-(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2022年度外部出向者名簿

	各会議・委員会名	出向者名
1	会津若松市こどもまつり実行委員会	栗城宏修 松本和也
2	会津若松市交通対策協議会委員	深谷 瑞比古
3	会津若松市交通対策協議会委員交通安全教育部会	深谷 瑞比古
4	会津若松市民憲章推進委員会	星 辰典
5	会津若松市民憲章推進委員会都市美化部会	星 辰典
6	会津若松社会福祉協議会評議員(2年)	深谷 瑞比古
7	会津EU協会理事	山口 大輔
8	会津若松市中小企業勤労者福祉サービスセンター理事	田中 厚
9	会津コンピューターサイエンススクール実行委員会	山口 大輔
10	福島県クリーンふくしま運動推進協議会(2年)	林 陵平
11	会津秋まつり実行委員会(会津まつり協会)	鈴木 亮平
12	会津若松市勤労青少年ホーム運営委員	鈴木 亮平
13	会津若松観光ビューロー役員(2年)	星→6月以降 鈴木亮平
14	荒城の月音楽祭	遠藤 和輝
15	会津大学短期大学部地域活性化センター推進 H25.7.8~	深谷 瑞比古
16	会津絵ろうそくまつり実行委員会	遠藤・深谷・田中・奥村
17	会津若松市定住・二地域居住推進協議会	鈴木 亮平
18	会津若松市中心市街地活性化協議会	鈴木 亮平
19	会津若松市公園緑地協会	林 陵平
20	会津若松市国際交流協会 理事 (1年)	山口 大輔
21	若松城整備審議会 (2年)	深谷 瑞比古
22	教育に関する有識者 担当	鈴木 亮平
23	あいづ食の陣実行委員会	林 陵平
24	社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員	深谷 瑞比古
25	八重顕彰事業実行委員会	鈴木 亮平
26	地球にやさしいふくしま県民会議会津地方会議	林 陵平
27	あいづ創生市民会議	鈴木 亮平
28	デジタル未来アート実行委員会	林 陵平
29	あいづまつり協会 理事	鈴木亮平
30	福島県立聴覚支援学校会津校講演会	田中 厚
31	アイズテラス実行委員会	林 陵平
32	司馬遼太郎顕彰委員会	鈴木 亮平
33	サムライシティプロジェクト	鈴木 亮平
34	まちづくり検討部会	鈴木 亮平
35	未来会議	鈴木 亮平

公益社団法人 日本青年会議所

公益社団法人日本青年会議所
会員発掘会議 委員 星 辰典

(成果)

日本青年会議所が今年一年掲げていた「理念共感」をもとに理念共感拡大を担当した委員会でした。講演会を定期的実施しました。私も講演会に参加して理念共感の重要性に気付くことができました。JCI Mission、JCI Visionも読み返すようになり、改めて素晴らしい使命、将来像だと気付きました。

仕事面でも前会社の経営理念はただのお飾りでしたが、今年新会社を設立した際には経営理念、行動指針に使命や将来像を記載し、どんな想いで仕事をすべきか社員に伝え、毎週のミーティングで唱和をしております。

LOMでも特に来年の新理事や入会間もない会員、新入会員候補者にJCのあるべき姿を伝えていきたいと考えております。

(反省)

年初はZOOMでの講演会や委員会に極力参加するようにしていたが、LOMの事業等が忙しくなってきたからは中々参加することができませんでした。定期的に日本各地で委員会を開催しており、数回はリアルで参加したいと考えておりましたが、出向メンバーとお会いできたのはサマーコンファレンスの一度のみでした。もっと各地会員と触れ合うことができれば、さらに良い刺激をもらえたと思うので反省です。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

今まで出向で要職についたことは少ないが、他LOMの情報が知れる。他地域の情報が知れる。他地域で頑張っている経営者を知れて、すごく刺激になると同時に視野が広がることは間違いないと思います。向上心を持って出向してほしいと思います。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会
組織運動確立会議 委員 山口 大輔

(成果)

ブロック委員長の事業構築のためになると考え、理念共感、中期ビジョンを担当する地区委員会に委員として出向しました。委員なので負担はないかと思いましたが、東北青年フォーラムの議案を1議案書くなどどっぷりやりました。

成果といたしましては、公益社団法人日本青年会議所の各議長、委員長、VCとつながりを持つことができ今後のモチベーションアップとなりました。その上、議案作成能力は向

上しました。

(反省)

自ら負担を増やしていったことでLOMの活動がおろそかになってしまいました。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

東北はとても広いです。いろいろな人がいます。またブロック以上に本会とのつながりが強いので、全国のメンバーとつながることができます。負担と思わず負荷ととらえ果敢にチャレンジしてみてください。次年度は頑張ってフォローする側に回ります。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
アカデミー委員会 委員長 山口 大輔

(成果)

この1年間、入会3年目の本来であればアカデミー生として出向すべき人間が、委員会を構築することになりました。自分ならどういった委員会をしてほしいかをテーマに、地区に出向し得た情報をもとに試行錯誤で事業委員会構築を行いました。このような経過もありアカデミー生よりもこの委員会を通して成長できたと考えております。

また、全9回の委員会という無謀にちかい計画を立てたため議案作成能力は極めて向上しました。

(反省)

副会長の業務等により正副会長会議の出席も多く、LOM理事会の欠席遅参が多くなってしまいました。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

ブロック委員長は正直しんどいです。これは事実であり隠すつもりもありません。でも、この役職を振られるというのはいろいろな方からの思いの強さの裏返しであると思います。その思いにこたえた時には大きな成長となって返ってくると思いますので、積極的に機会をつかみに行ってください。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
組織連携推進委員会 副委員長 栗城 宏修

(成果)

今年度、組織連携推進委員会では新入会員セミナー、女性メンバー活躍推進セミナー、楽しく学ぼう！防災、減災スタンプラリー、ふくしまSDGs博ブース出展などを行いました。私は、主に防災スタンプラリーに参加し岳温泉を舞台に約1時間で回る事業の運営に

携わりました。猛暑の中での事業でしたが委員間で協力し合い楽しく行えました。
また、アカデミーの同期の方たちと再会でき一緒に活動できたのも良かったです。

(反省)

スタンプラリー以外の事業については日程調整がつかず参加することができませんでした。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

他LOMの方々と知り合える貴重な機会ですので是非出向してください。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
アカデミー委員会 統括幹事 林 陵平

(成果)

アカデミー委員会総括幹事として出向させていただきました。

スタッフ会議や出欠の取り纏め、塾生への連絡などどうしたら委員会がスムーズに進行できるのか考えながら進める事に意識するようになりました。

塾幹事も兼任させていただいたので塾生と仲良くなる事が出来ましたし、心から楽しかったと思える一年でした。

(反省)

山口委員長を支えるべき立場でありながらスタッフの中で総括だけが日曜に参加できないという前代未聞の総括幹事をさせていただきました。

塾生に参加を進めている立場である以上何とか参加できるよう調整すべきでした。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向は数年後行って良かったなと思える日がきます。

出向した時にできた繋がりが数年後お互い新たな役職で再会した時に支えあえる仲間になります。

なので出向は積極的に参加しましょう。特にアカデミーは繋がりが深くなるのでおススメですよ。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
福島の未来創造委員会 幹事 遠藤 和輝

(成果)

他LOMメンバーとの繋がりが出来た。

一生懸命活動に取り組んでいるメンバーから自分ももっと頑張らなければといういい刺激を受けた。

目的をしっかりと持った事業の構築の難しさを改めて実感した。

(反省)

委員会への参加率が低く、委員会メンバーにご迷惑をおかけした。(一度でも休んでしまうと、次の委員会の日程調整が委員会開催時に行っており、次の予定を合わせるのも難しくなり、なかなか参加しにくくなったりします。)

事業の準備に関わりながら、当日不在としてしまうことがあった。(せっかく関わったからには、本番にも積極的に参加して、みんなでいい事業をつくる現場にいたほうがよかった。)総括幹事、委員長、副会長など運営中心メンバーに頼りきになってしまい、幹事としての役割を果たせなかった。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

委員会への参加がなかなかできない状況であっても、仮に出向という機会が望んではいなかったがたまたままわってきたとしても、実際に取り組んでみなければ、また出向という経験をしなければ、出向の良さはわかりません。

完璧にできることが目的ではなく、出向のよさを肌で実感し、自分の成長のためにどう生かせるかと考えて行動に移すことが大切だと思います。

出向だけでなく、各種大会もそうですが、実際に自分の目で見て、触れてみなければわからないことがたくさんあります。その中で、出向というのは、各種大会のように、年に1度の機会ではなく、委員会開催、事業当日など、出向した委員会に関わることができる機会はたくさんあります。ぜひ、出向という機会を前向きにとらえて、チャレンジしていきましょう。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
組織連携推進委員会 幹事 深谷 瑞比古

(成果)

普段交流の持てない他LOMの人たちと交流できたことは非常に大きいと思います。

事業にいたるまで、参加の有無は問わず、総括幹事との連絡は取りあうようにした。

(反省)

事業のほとんどを委員長と総括幹事に頼り切りになってしまったことが申し訳なかった。また、事業に向けてのやり取りや、委員会にはできるだけ参加をするようにしたが、事業当日に参加できないことが多かったのが申し訳ない。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向は、普段のLOMとは違う環境や立場の人たちと交流を持てる良い機会です。できることならば積極的に参加してもらいたいですし、参加が難しい場合にもその旨をきちんと相手に伝えることが大事なことだと考えます。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会

アカデミー委員会 委員 清水 広太

(成果)

入会時期が同じくらいのメンバーと仲良くなることができました。年齢は離れているメンバーも多くいますがこれからのJC活動をする上での大切な仲間たちと出会いアカデミー委員会が終わっても会う機会を作りたいと思います。

(反省)

仕事の都合がつかず1日だけの参加、ズームでの参加が多くなり参加率が低かった。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

新たな仲間と知り合える機会なのでぜひ他のLOMメンバーと仲良くなってください。

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会
ブロック大会実行委員会 委員 田中 厚

(成果)

良かった点：

ブロック大会事業（ニコニコ大統領選挙）を通して中通りの学生と触れ合えることができてよかった。

理由：

他LOMメンバーと知り合えることはもちろん、知らない地域の学生がいろんな考えをもって活動しているのに触れることはいい刺激になりました。

(反省)

打ち上げ参加できず、両手に華の深谷委員長（二本松）の写真を眺めて終わったこと。

打ち上げ参加できず、シャンパンタワーの隣で眠そうな田部副会長（坂下）の写真を眺め

(次年度出向者へ伝えたいこと)

ブロック大会実行委員会、当日はとても疲れますが

ひとつの事業を終えたときの達成感は一入です。

褒賞委員会

委員長 遠藤 和輝
副委員長 深谷 瑞比古
委員 山口 大輔
委員 星 辰典

◆ 委員長所感

2022年度を振り返ると、鈴木理事長が掲げる「笑顔の想像から創造へ～地域の心を豊かに～」のスローガンに則った、素晴らしい事業がたくさん実施されてきました。新しく入会した会員も積極的に委員会に参加して活躍をし、初の理事を受けたメンバーも試行錯誤しながら一生懸命その責務を全うしていました。さらに、副委員長をはじめとした理事以外のメンバーもこれまでのJC活動を通して学んだことを活かし、委員会や出向、大会といった様々な機会を通して、多くの経験を学んでいる姿を見ることが出来ました。

褒章に際し、委員長陣に面談を行った際も、たくさんの会員に支えられながら、一年間JC活動・運動を展開できたことを改めて実感できるものとなり、非常に有意義な一年であり、会津青年会議所として、会員一丸となって成長できたものであると確信できました。また、褒章委員会メンバーからも、この人はぜひ褒章しようという非常に前向きな意見も出され、褒章委員会のメンバーがしっかりと会員の活躍を見守っていたことが非常にいいことであり、委員長として非常にうれしく思いました。

最後に、本年褒章された皆様がこれからますます活躍されること、そして会員が一丸となってこれからも活動・運動できる団体であり続けることを祈願いたします。

一年間大変お疲れ様でした。

◆ 付託

2022年2月7日（月） 第3回理事会

委員会開催 2022年4月5日（火） 場所 会津青年会議所会館

委員会開催 2022年11月2日（水） 場所 会津青年会議所会館

◆ 答申理由

2022年4月6日（水） 第5回理事会

2022年10月28日（金）16時締切の褒賞申請資料及び年間活動アルバムをもとに2022年10月28日（金）会津青年会議所会館において各委員会から提出のあった申請書並びに年間活動アルバムをもとにヒアリングを行い、公益社団法人会津青年会議所褒賞規定に基づき、褒賞対象者を選出し、推薦者の一員でもある理事長のご確認を

頂き褒賞受賞者・受賞委員会を決定させて頂く旨の答申を行った。

2022年11月7日（月） 第12回理事会

2022年11月2日（水）会津青年会議所会館において各委員会各委員会から提出のあった申請書並びに年間活動アルバムをもとにヒアリングを行い、公益社団法人会津青年会議所褒賞規定に基づき、褒賞対象者を選出した結果の答申を行った。

1) 委員会賞

最優秀委員会賞 青少年委員会

優秀委員会賞 地域委員会

努力委員会賞 総務委員会

2) 個人賞

最優秀個人賞 清水 広太 君

優秀個人賞 大里 正樹 君（サポーター）

高久 幸平 君

3) 新人賞

最優秀新人賞 松村 俊祐 君

4) その他 個人賞

各委員長のヒアリング等に基づき、青年会議所運動の推進抑揚のために褒章すべきであると判断した賞となります。

最終年度まで駆け抜けたで賞 奥村 友一 君

新人らしからぬ活躍をしたで賞 矢木 尚彦君

未来の最優秀新人賞 添田 将君

J C 会館管理委員会

委員長 深谷瑞比古

副委員長 星 辰典

委員 室井 英善（OB）

委員 若林 信一

◆委員長所感

会員の減少に伴い、これまでにないほどの予算の削減や見直しが進められているなかで、

会館の管理についても、今後の自動販売機の在り方など、細かいところまで考えていかなければならない状況となっています。しかし、なかなか踏み込んで決断するところまでには至らず、先送りになってしまったことをお詫びいたします。

次年度以降は、節電や、用紙の節約など、会員一人ひとりの意識改革が特に必要になってくると感じました。そういった意識付けによって捻出された費用が、管理や修繕などに回され、会の好循環に繋がると思います。

◆付託

2022年2月7日 第3回理事会

◆委員会開催

2022年3月30日 会津青年会議所会館にて開催

◆答申内容

2022年4月6日 第5回理事会

1. 会館管理規定について

(ア) 会館管理規定については、変更は不要であると判断した。

2. 会館管理規定細則について

(ア) 会館管理規定細則については、変更は不要であると判断した。

3. 昨年からの申し送り事項について

(ア) 例年通りお盆時期に1回、年末に1回の会館大掃除は必要です。

⇒例年通り開催する。

(イ) 部屋を仕切るアコーディオンカーテンの修繕が必要です。

⇒検討し、見積もりを取得のうえ進めます。

(ウ) 除雪作業に関して、会員同士で連携をして行う。

⇒専務、事務員と連絡を取りながら、会員同士協力をして早急に対処するようにする。

(エ) 夏季の除草については、定期的に行う必要がある。

⇒会員同士協力し合いながら、除草剤も定期的に使い、日頃から草が生い茂る状態を未然に防ぐようにする。

(オ) 今回答申された内容について捻出可能な予算に合わせて当年度の専務及び事務局主導のもと、総務委員会にて実施する。また、次年度への引継ぎ事項として、10月中に委員会を開催し、最終理事会にて次年度への申し送り事項を上げる。

4. 会館内利用状況について

(ア) 自動販売機を会館の外に設置する案が出ている。

⇒館内に設置している自動販売機は、電気代の面から会計を圧迫しているのも現状で、外に設置する案は前向きに検討する必要がある。

(イ) 使用できない備品の整理に関して、選別して処分することを検討すべきである。

⇒昨年に引き続き、整理整頓、処分の検討をする。

5. 会館外利用状況について

(ア) 例会時、事業時は必ず借用先に事前に連絡をし、駐車場借用書を提出して注意事項を会員に周知徹底する必要がある。

6. その他

(ア) 次年度のために、年度末には、事前に委員会を開催したうえで最終理事会にて次年度への申し送り事項を報告する。

中期ビジョン策定委員会

委員長 遠藤 和輝

副委員長 田中 厚

副委員長 清水 広太

委員 若林 信一

委員 下平 常貴

委員 山口 大輔

委員 松本 和也

委員 吉田 木道

委員 近野 直斗

◆ 委員長所感

本年、中期ビジョン策定委員会では、会員が同じ方向を向き、一丸となって会津青年会議所の運動・活動により地域を豊かにする方策を考える一年となりました。

会津青年会議所では、2020年代運動指針(10年先を見据えた運動ビジョンの共有)を持っていますが、しっかりと会員に浸透していない状況でした。本委員会では、まずはこのビジョンの共有と、会員間の会津青年会議所が地域に求められるもの、地域を豊かにするために我々が行わなければいけないことの共有から始めようと考えました。

そこで3月例会「1日目から始める会津青年会議所」として、会員の意識、意見の共有の場を設けました。

残念ながら、そこから広げて、会員共通のビジョンを策定するところまではできませんでしたが、この機会を通して、会員の中になんのために、誰のためにこの活動をするのかという目的意識が生まれたと確信しております。

本特別委員会を設けていただいた鈴木理事長をはじめとする理事の皆様にご感謝申し上げますとともに、会員の皆様には本年を通して学んだビジョンを共有し、心をつなげる大切さを忘れずに、これからも青年会議所運動・活動をされますことを切にお願い申し上げます。

最後に、支えただいたメンバーの皆様にご最大限の感謝の意を表します。1年間ありがとうございました。

◆ 付託

2022年2月7日（月） 第3回理事会

委員会開催 2022年2月18日（金） 場所 858

委員会開催 2022年3月18日（金） 場所 会津青年会議所会館

◆ 答申理由

2022年11月29日（火） 第13回理事会

1年間の活動の報告として、下記の通り答申を行った。

1) 中期ビジョン策定について

当青年会議所は、2020年代運動指針を設けており、まだまだこの指針をうまく有効活用できているとは言えない。さらに、中期ビジョンの策定にあたっては、会員の意識統一もさることながら、市政の理解、市民からのヒアリングをはじめとする、策定にかかる準備が非常に多く、単年度での計画は難しいと判断しました。

今年度は、3月例会として、青年会議所会員の意識、意見の共有の場として例会を開催しました。ここで出された意見も多種多様あり、今後は会員の意識向上とともに、必要に応じて中期ビジョンを策定する必要があります。

2) 中期ビジョンにおける対外連携について

1) の理由により、ここまでの検討はできずに終わりました。

一部、出てきた意見としては、商工会議所青年部、中小企業家同友会、会津大学などとの連携が必要ではないかということではあったが、具体的な連携方法や、連携する意義など、深い議論までは落とし込んでいません。

3) 次年度への申し送り事項について

特別委員会の設置の有無は、次年度の運営体制で判断いただければと思います。

ビジョン策定に向けては、委員会の有無に限らず、まずは2020年運動指針を会員に周知の徹底をしていただくのが第一歩になると思います。

さらに、運動指針にのっとり運動を展開するうえで、短期的なビジョンが団体と

して必要となれば、中期ビジョンの策定に取り組むという流れになるかと思えます。

4) その他、地域ビジョン策定に必要な活動

日本本会より、本年、様々な資料が提供されておりますので、そちらを参考にしていただければと思います。

[公益社団法人日本青年会議所ビジョナリーシティー会議 PPT](#)

一般社団法人福山青年会議所 中期ビジョン

会員資格審議委員会

委員長 林 陵平

副委員長 若林 信一

委員 清水 広太

委員 笠井 章久

◆ 委員長所感

本年度は拡大目標を10名としておりましたが、4名の正会員を新入会員として迎え入れることでとどまりました。会員が年々減少している状況のなかいかに会全体で会員拡大のモチベーションを維持できるのかを念当初考えました。

そこで入会までを逆算して拡大活動が出来るよう原則入会月を3、6、9月とさせていただきますが、現実に入会熱が高いうちに入会させたいということもあり各月での入会となりました。それ以上に毎月委員会を開く予定ではあったがなかなか開くことがかなわず、そのことが会員拡大4名に留まった理由の一つであると反省しました。今年は2名のみの卒業でしたが来年は6名が卒業されることがわかっている為、会津青年会議所を存続させるためにも影響力のある運動を展開するためにも次年度は会員拡大を成功させなければいけません。

最後に、鈴木理事長をはじめとする候補者への声掛け・情報提供など会員拡大にご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げ、委員長所感とさせていただきます。

◆ 付託

2021年11月25日 第3回理事会

◆ 答申内容

2022年8月8日 第9回理事会

1) 入会受付期間について

原則は3月、6月、9月を入会月とすることを前提とする。

理由①何月までに入会させるにはいつまでに声掛け、例会・事業への参加をしな

ければいけないのかを逆算をして計画的に進めていく意識を統一させるため

②同期入会でも同じ理事会で入会した方が新入会員の結束・同期意識が高まると考えるため

ただし、例外として入会意思が高い入会候補者がいる場合は上記の月に関わらず入会を審議することを認める。四役会、会員資格審議委員会で同意が得られる場合に限る。

2) 会員拡大に関する事項

(1) 入会条件に関して

1 例会参加と1事業もしくは1委員会の参加を入会条件とする。

理由 これまでは1事業、2例会を条件としていたが候補者の都合もあり、参加できない事業があると入会条件を満たすまでに4～5か月かかってしまうことがある。当会議所でも会員減少は深刻な問題であり、早期に入会してもらい即戦力となる会員を育てていきたいと考えるため。

(2) 入会オリエンテーションの開催に関して

入会前の開催もしくは入会后2ヶ月以内に開催する。

理由 近年候補者が集まらず開催していない状況である。2ヶ月猶予を持つことで1人や2人といった少人数でなく、5～6名程度まとまった人数で開催できる。

3) サポーター会員について

これまでサポーター会員についての定義についてはこちらを確認下さい。(2020年度会員資格審議委員会答申より)

(1) 2年運営してきて見えてきた課題

- ・原則2年としていたがサラリーマンに関して正会員になるのは難しい
- ・自分の給料から会費を捻出しなければならない。(実際は会費以上に会費が多いのが事実)
- ・会社員である以上勤務時間の制約があり、時間の調整ができない。
- ・参加意欲の薄い人(参加率が低い)でも残れてしまう。
- ・現在会津青年会議所では会員数の減少によりサポーター会員がいないと人員が不足するのが現状。

(2) 来年からの対応

サポーター会員規定を明確に定め、入会時に説明し、継続に期限を設けることでサポーター会員の活性化を図る。

◆サポーター会員の入会条件

サラリーマン（経営者の親族関係にない）であること。

サポーター年会費（25,000円）を年度初めに支払う。

入会時36歳以下である。

◆サポーター会員の継続条件

年度末に三役・四役と面談を行い、理事会で審議を図る。

継続は2年迄とする。

- ① 例会(事業)参加率60%以上(ブロック事業は含まないが総会は含む)
- ② 所属委員会出席率60%以上

(3) その他

- ・サポーター会員は最大で4名までを上限とする。
- ・入会申込書にはそれぞれの入会、継続要件を記載したもので今後は記載してもらおう。別紙参照

(4) その他

会員拡大会議は月1回程度を目安に短時間で開催し、参加してくれた会員が学びを得られるような内容に設えを作るようにする。

以上

9. 備品明細

品名	数	備品 NO.	摘要
J C ゴンダ	1	NO. 1	
手提金庫	2	NO. 2、91	
黒板	2	NO. 11、39	
スチール書庫	3	NO. 14、56、78	
カメラ (ヤシカエレクトロ35)	1	NO. 18	
スチールロッカー	3	NO. 20、21、42	寄贈品
J C 旗	5	NO. 22	
国旗	9	NO. 23	
スチール書棚	2	NO. 24、25	
スチール書庫	5	NO. 26、27、46、48	記念品
計量機	2	NO. 29、116	
ラジオ付カセットテープレコーダー	1	NO. 31	寄贈品
チェックライター	1	NO. 33	
腕章	83	NO. 34	
印伴天	20	NO. 35	
会議用スチール机	2	NO. 36、37	記念品
拡声装置付演台	1	NO. 40	寄贈品
スチール更衣ロッカー	1	NO. 44	
賞状盆	1	NO. 47	
ワッペン帽子	12	NO. 49	
映写機 (エルモ S T-1200)	1	NO. 52	記念品
スチール椅子	1	NO. 54	
スチール椅子	67	NO. 55	寄贈品
暖房機	3	NO. 57、125、126	寄贈品
木製机	3	NO. 58、93、94	
スチール書庫	1	NO. 59	寄贈品
折りたたみスチール机	15	NO. 60	
応接セット	一式	NO. 63	記念品
スリッパ	150	NO. 64	
瞬間湯沸機	1	NO. 65	寄贈品
紙断裁機	1	NO. 66	寄贈品
クーラー	1	NO. 67	寄贈品
新聞架	1	NO. 69	
アルミサッシ 網戸一式	1	NO. 70	
傘立	1	NO. 71	寄贈品
折りたたみスチール机	2	NO. 72	寄贈品
案内板	1	NO. 73	記念品
カメラ (フジカオートフォーカス)	1	NO. 77	寄贈品
レターケース (7段組)	2	NO. 79、81	
スチール製書庫	1	NO. 80	
ビクターアンプ拡声装置	一式	NO. 83	寄贈品
J C 旗パネル	1	NO. 84	寄贈品
国旗パネル	1	NO. 85	寄贈品
スチール椅子	60	NO. 86	寄贈品
大型耐火金庫	1	NO. 86	寄贈品
パネル時計	1	NO. 87	寄贈品
拡声機	1	NO. 88	寄贈品
ネームプレート収納板	1	NO. 89	
掃除機	1	NO. 90	寄贈品
スクリーン	1	NO. 92	
布バリ椅子	1	NO. 95	記念品
携帯用テープレコーダー	1	NO. 97	
携帯用テープレコーダー	1	NO. 98	寄贈品
石油ストーブ	2	NO. 99、100	記念品
投票箱	1	NO. 105	
折りたたみスチール椅子	32	NO. 106	
ホワイトボード	1	NO. 107	
ワードプロセッサースタンド	1	NO. 108	
回転帳簿立	1	NO. 111	

品名	数	備品 NO.	摘要
カーテン一式	19	NO. 112	
冷蔵庫	1	NO. 115	寄贈品
パソコンディスプレイ(H11寄贈)	1	NO. 120	寄贈品
パソコンラック	1	NO. 122	
印刷機	1	NO. 123	寄贈品
ビデオモニター	一式	NO. 127	
カメラ(コニカ)	1	NO. 132	
OHPスクリーン	1	NO. 134	
カメラ	1	NO. 135	寄贈品
エアコン 応接室	1	NO. 136	寄贈品
レーザープリンター	1	NO. 138	寄贈品
ラック	1	NO. 139	寄贈品
アンプ	1	NO. 140	寄贈品
カラーテレビ	1	NO. 141	寄贈品
MOドライブ	1	NO. 142	
デジタルカメラ(オリンパス)	1	NO. 143	
インクジェットプリンター(CANON)	1	NO. 144	
ISDNターミナルアダプタ	2	NO. 145、56、78	
折りたたみスチール机	1	NO. 146	寄贈品
テープレコーダー	1	NO. 147	
デジタルビデオカメラ一式	1	NO. 148	
パソコン(H15寄贈)	1	NO. 149	寄贈品
折りたたみスチール椅子	16	NO. 150	寄贈品
LAN折りたたみスチール机	7	NO. 151	
ICレコーダー	1	NO. 153	
パソコン 本体	1	NO. 154	寄贈品
パソコンディスプレイ	1	NO. 155	寄贈品
会議用暖房機	1	NO. 156	
プロジェクター	1	NO. 157	
トランシーバー	一式	NO. 158	
デジタルビデオ	3	NO. 159	
シュレッダー	3	NO. 160	
半天(公社) 会津青年会議所	50	NO. 162	寄贈品
のぼり(公社) 会津青年会議所	30	NO. 163	寄贈品
のぼり用ボール	30	NO. 164	寄贈品
外付けハードディスク	1	NO. 165	
ノートパソコン	1	NO. 166	H26寄贈品
プリンター	1	NO. 167	H26購入
一眼レフカメラ	一式	NO. 168	H27購入
JCバックボード	1	NO. 169	R3寄贈品

公益社団法人 会津青年会議所

2022年度 会計決算報告

収入の部			2022年度	2022年度	2022年度	差異	摘	要	
大	中	小	予算	修正予算	決算				
事業活動収入	① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	226	226	226	0		基本財産の受取利息	
		特定資産運用収入	50	50	44	-6		特定資産の受取利息	
		② 入金金収入	受取入金金収入	650,000	975,000	260,000	-715,000		665,000×4人
		③ 会費収入	正会員年会費収入	0	0	0	0		
		正会員年会費	2,875,000	2,875,000	2,875,000	0		125,000×23人	
		新入会員年会費	600,000	420,000	200,000	-220,000		1月入会@60,000×2人 6月入会@60,000×1人 8月入会@30,000×1人	
		賛助会費	0	0	0	0		賛助会費なし	
		特別会費	20,000	20,000	20,000	0		@20,000×1人 (2021年度卒業生1名)	
		サポーター会費	125,000	75,000	75,000	0		@25,000×3人	
		計	3,620,000	3,390,000	3,170,000	-220,000			
事業活動収入	⑤ 事業収入	事業費繰入収入	0	0	0	0			
		登録料収入	30,000	716,900	524,340	-192,560		500円×18人=合計9,000円	
		わんぱく相撲登録料	30,000	25,000	9,000	-16,000		8月事業 120円×32人 9月例会 500円×15人	
		青少年事業	0	31,900	11,340	-20,560			
		総務事業	0	0	0	0			
		四役事業	250,000	660,000	504,000	-156,000		函館姉妹締結25周年 登録料	
		広告費	0	0	0	0			
		販売収入	0	0	0	0			
		業務委託収入	50,000	50,000	50,000	0		0B会事務委託費 50,000円	
		家賃・会議室収入	0	0	0	0			
雑収入	0	100,721	10,841	-89,880		函館式典記念品費用折半			
計	330,000	867,621	585,181	-282,440					
事業活動収入	⑥ 補助金等収入	国庫補助金収入	0	0	0	0			
		地方公共団体補助金収入	330,000	360,000	350,000	-10,000		サポート事業 リアル会津の宝探し 会津絢ろうそくまつり実行委員会(絢ろうそくまつり補助金として)	
		民間補助金収入	3,000,000	2,431,863	2,431,863	0			
		地方公共団体助成金収入	0	0	0	0			
		民間助成金収入	0	0	0	0			
計	3,330,000	2,791,863	2,781,863	-10,000					
事業活動収入	⑦ 寄付金収入	寄付金収入	40,000	75,000	75,000	0		会津JC応援企業 2社×20,000 8月事業協賛 35,000	
		募金収入	0	0	0	0			
計	40,000	75,000	75,000	0					
事業活動収入	⑧ 雑収入	受取利息収入	0	10	8	-2			
		その他雑収入	29,724	25,230	52,814	27,584		自動販売機27,042 クレジットカード還付金1,339 その他雑収入	
計	29,724	25,240	52,822	27,582					
事業活動収入	⑨ 他会計からの繰入金収入	一般会計からの繰入金収入	0	0	0	0			
		特別会計からの繰入金収入	0	0	0	0			
基金会計からの繰入金収入	0	0	0	0					
計	0	0	0	0					
事業活動収入計			8,000,000	8,125,000	6,925,136	-1,199,864			
支出の部			2022年度	2022年度	2022年度	差異	摘	要	
大	中	小	予算	修正予算	決算				
事業活動支出	① 事業費支出	＜ 四 役 ＞	0	0	0	0		3月例会	
		7月例会	500,000	560,000	535,390	-24,610		リアル会津の宝探し	
		8月例会	250,000	850,000	576,637	-273,363		函館姉妹締結25周年式典	
		小計	750,000	1,410,000	1,112,027	-297,973			
		＜ 総務委員会 ＞	150,000	120,230	120,230	0		新年会	
		4月例会	20,000	72,000	70,744	-1,256			
		11月例会(納会)	30,000	20,000	11,000	-9,000			
		小計	200,000	212,230	201,974	-10,256			
		＜ 青少年委員会 ＞	30,000	139,400	120,080	-19,320		3月例会-8月事業	
		5月例会	300,000	325,000	150,483	-174,517		わんぱく相撲	
9月例会	120,000	91,000	68,660	-22,340					
小計	450,000	555,400	339,223	-216,177					
＜ 地域委員会 ＞	3,000,000	2,431,863	2,431,863	0		2月例会 会津絢ろうそくまつり			
6月例会	50,000	55,000	54,574	-426					
10月例会	150,000	50,000	5,388	-44,612					
小計	3,200,000	2,536,863	2,491,825	-45,038					
委員会運営費支出	0	0	0	0					
事業予備費支出	0	0	0	0					
合計	4,600,000	4,714,493	4,145,049	-569,444					
事業活動支出	② 管理費支出	給料手当	927,300	900,000	915,996	15,996		事務局員費(191日・基本給・残業・交通費等)	
		退職給付費用	0	0	0	0			
		福利厚生費	10,000	14,020	11,299	-2,721		労働保険料	
		会議費	6,300	6,300	0	-6,300			
		旅費交通費	4,579	15,681	0	-15,681			
		通信運搬費	250,000	250,000	240,892	-9,108		電話電報代・年賀状・FAX代・切手代・PC等	
		減価償却費	0	0	277,518	277,518			
		消耗什器備品費	0	0	0	0			
		消耗品費	100,000	70,000	57,239	-12,761		Eメール・コピー用紙・印鑑他	
		修繕費	0	0	0	0			
印刷製本費	200,000	210,000	206,800	-3,200		会員手帳			
燃料費	40,000	30,000	23,132	-6,868		灯油代			
光熱水料費	275,000	320,000	316,358	-3,642		電気・ガス・水道代			
賃借料	450,000	500,000	527,760	27,760		地代、ビル・機材・AEDリ・送料			
保険料	47,900	47,900	47,900	0		火災保険料			
諸謝金	0	0	0	0					
租税公課	0	0	0	0		登記料・収入印紙代			
渉外費	60,000	30,000	30,000	0		わんぱく・香典・祝電・御祝・協賛			
業務委託費	140,000	140,000	149,336	9,336		ホームページ作成運営費			
広報費	77,000	20,000	0	-20,000		年賀及び一般広告代			
記念品費	0	0	0	0					
雑費	100,000	55,000	88,877	33,877		振込振替手数料・新聞代・初穂料 新入会員関連・Eメール・歴代理事長備品			
管理・運営予備費	0	0	0	0					
計	2,688,079	2,608,901	2,893,107	284,206					
事業活動支出	③ 負担金	支払い・協賛負担金	0	0	0	0			
		JCI負担金	53,196	61,256	41,600	-19,656		@1,664×25名	
		日本JC負担金	30,000	30,000	30,000	0		基本金30,000 (50人以下予定のため)	
		日本JC付加金	165,000	190,000	125,000	-65,000		付加金@5,000×25人	
		日本JC出向者負担金	20,000	20,000	20,000	0		基本金@20,000×1名	
		東北地区協議会負担金	5,000	5,000	5,000	0		基本金5,000	
		東北地区協議会付加金	49,500	57,000	37,500	-19,500		付加金@1,500×25人	
		東北地区協議会出向者負担金	10,000	10,000	0	-10,000			
		福島ブロック協議会負担金	35,000	35,000	35,000	0		基本金35,000	
		福島ブロック協議会付加金	165,000	190,000	125,000	-65,000		付加金@5,000×25人	
国際協力資金	60,225	69,350	45,625	-23,725		@1825×20人			
機関誌購読料	99,000	114,000	75,000	-39,000		We Believe購読料@3,000×25名			
計	691,921	781,606	539,725	-241,881					
事業活動支出	④ 他会計への繰入金支出	一般会計への繰入金支出	0	0	0	0			
		特別会計への繰入金支出	0	0	0	0			
基金会計への繰入金支出	20,000	20,000	20,000	0		@20,000×1人			
計	20,000	20,000	20,000	0					
事業活動支出	⑤ その他支出	0	0	0	0				
		0	0	0	0				
事業活動支出計			8,000,000	8,125,000	7,597,881	-527,119			
事業活動収支差額			0	0	-672,745	-672,745			

正味財産増減計算書

2022年11月30日現在

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	増減	適用
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	226	226	0	
基本財産受取利息	226	226	0	定期預金(東邦銀行)
基本財産受取配当金			0	
基本財産受取賃貸料			0	
特定資産運用益	44	56	△ 12	
特定資産受取利息	44	56	△ 12	定期預金(東邦銀行)
特定資産受取配当金			0	
特定資産受取賃貸料			0	
受取入金	260,000	195,000	65,000	
受取入金	260,000	195,000	65,000	@65,000×4人
受取会費	3,170,000	3,030,000	140,000	
正会員会費	2,875,000	2,625,000	250,000	@125,000×23人
新入会員会費	200,000	180,000	20,000	1月入会@60,000×2人6月入会@50,000×1人8月入会@30,000×1人
賛助会員会費	0	0	0	
特別会員会費	20,000	100,000	△ 80,000	@20,000×1人(2021年度卒業生1名)
サポーター会員会費	75,000	125,000	0	@25,000×3人
事業収益	585,181	395,000	190,181	
登録料収益	524,340	295,000	229,340	500円×18人=合計9,000円
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
事務局受託収益	50,000	100,000	△ 50,000	OB会事務委託費 50,000円
雑収益	10,841	0	10,841	
受取補助金等	2,781,863	4,547,693	△ 1,765,830	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	350,000	1,737,630	△ 1,387,630	
受取民間補助金	2,431,863	2,810,063	△ 378,200	会津絵ろうそくまつり実行委員会 (絵ろうそくまつり補助金として)
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取補助金等振替額	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
受取寄付金	75,000	1,352,294	△ 1,277,294	
受取寄付金	75,000	1,352,294	△ 1,277,294	会津JC応援企業 2社×20,000 8月事業協賛 35,000
募金収益	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	52,822	326,152	△ 273,330	
受取利息	8	9	△ 1	
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	0
雑収益	52,814	326,143	△ 273,329	自動販売機27,042 クレジットカード還付金1,339その他雑収入
経常収益計	6,925,136	9,846,421	△ 2,921,285	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
(2)経常費用				
事業費	5,164,114	7,773,310	△ 2,609,196	
給料手当	366,399	472,715	△ 106,316	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	4,519	3,688	831	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	32,540	62,750	△ 30,210	
通信運搬費	212,535	361,140	△ 148,605	
減価償却費	138,759	138,759	0	
消耗什器備品費	6,600	55,462	△ 48,862	
消耗品費	2,317,985	2,368,484	△ 50,499	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	430,650	705,463	△ 274,813	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	126,543	160,568	△ 34,025	
賃借料	377,177	474,835	△ 97,658	
保険料	52,921	149,402	△ 96,481	
諸謝金	97,872	0	97,872	
租税公課	0	0	0	
渉外費	486,650	225,319	261,331	
業務委託費	174,603	1,804,020	△ 1,629,417	
広報費	33,000	243,320	△ 210,320	
記念品費	268,792	487,484	△ 218,692	
雑費	36,569	59,901	△ 23,332	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	0	0	0	
			0	
			0	
管理費	2,413,767	3,055,898	△ 642,131	
給料手当	549,597	435,303	114,294	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	6,780	3,396	3,384	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	144,536	126,237	18,299	
減価償却費	138,759	138,759	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	34,344	34,036	308	
修繕費	0	679,800	△ 679,800	
印刷製本費	206,800	256,850	△ 50,050	
燃料費	23,132	32,000	△ 8,868	
光熱水料費	189,815	147,861	41,954	
賃借料	316,656	248,088	68,568	
保険料	28,739	22,963	5,776	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	30,000	73,000	△ 43,000	
業務委託費	149,336	237,600	△ 88,264	
広報費	0	77,000	△ 77,000	
記念品費	0	0	0	
雑費	55,548	45,453	10,095	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	539,725	497,552	42,173	
基本財産評価損益等	0	0	0	
基本財産評価損益等			0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等			0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等			0	
経常費用計	7,577,881	10,829,208	-3,251,327	
評価損益等調整前当期経常増減額	-652,745	-982,787	330,042	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等			0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	-652,745	-982,787	330,042	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益			0	
車両運搬具売却益			0	
什器備品売却益			0	
土地売却益			0	
借地権売却益			0	
電話加入権売却益			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
建物売却損			0	
車両運搬具売却損			0	
什器備品売却損			0	
土地売却損			0	
借地権売却損			0	
電話加入権売却損			0	
固定資産減損損失	0	0	0	
土地減損損失			0	
投資有価証券減損損失			0	
災害損失	0	0	0	
災害損失			0	
経常外費用計	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-652,745	-982,787	330,042	
一般正味財産期首残高	16,180,196	17,162,983	△ 982,787	
一般正味財産期末残高	15,527,451	16,180,196	△ 652,745	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
受取国庫補助金			0	
受取地方公共団体補助金			0	
受取民間補助金			0	
受取国庫助成金			0	
受取地方公共団体助成金			0	
受取民間助成金			0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金			0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
基本財産評価益	0	0	0	
基本財産評価益			0	
特定資産評価益	0	0	0	
特定資産評価益			0	
基本財産評価損	0	0	0	
基本財産評価損			0	
特定資産評価損	0	0	0	
特定資産評価損			0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
一般正味財産への振替額			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	15,527,451	16,180,196	△ 652,745	

正味財産増減計算書内訳

(単位 円)

科目名	公益目的事業等会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計	
	公① 地域の発展 に寄与する事 業	公② 青少年育成 事業	公③ その他公益 目的事業	共通	小計	他① 会員の資質向 上事業	他② 会員間並びに 諸団体との交 流事業	他③ 会員の 拡大を 図る事業	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
基本財産運用益	0	0	0	226	226	0	0	0	0	0	0	0	0	226
基本財産受取利息	0	0	0	226	226	0	0	0	0	0	0	0	0	226
基本財産受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取賃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	44
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	44
特定資産受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取賃料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入金	0	0	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000	80,000	0	0	260,000
受取入金	0	0	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000	80,000	0	0	260,000
受取会費	180,352	243,883	0	493,000	1,047,235	70,744	193,026	0	92,629	356,399	1,766,366	0	0	3,170,000
正会員会費	160,352	243,883	0	247,000	651,235	70,744	193,026	0	92,629	356,399	1,867,366	0	0	2,875,000
新入会員会費	0	0	0	246,000	246,000	0	0	0	0	0	-46,000	0	0	200,000
賛助会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	0	0	20,000
サポーター会員会費	75,000	0	0	75,000	150,000	0	0	0	0	0	-75,000	0	0	75,000
事業収益	0	20,340	0	0	20,340	0	514,841	0	0	514,841	50,000	0	0	585,181
登録料収益	0	20,340	0	0	20,340	0	504,000	0	0	504,000	0	0	0	524,340
懇親会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務局受託収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	10,841	0	0	10,841	0	0	0	10,841
受取補助金等	2,781,863	0	0	0	2,781,863	0	0	0	0	0	0	0	0	2,781,863
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	350,000	0	0	0	350,000	0	0	0	0	0	0	0	0	350,000
受取民間補助金	2,431,863	0	0	0	2,431,863	0	0	0	0	0	0	0	0	2,431,863
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	10,000	65,000	0	0	75,000	0	0	0	0	0	0	0	0	75,000
受取寄付金	10,000	65,000	0	0	75,000	0	0	0	0	0	0	0	0	75,000
募金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,822	0	0	52,822
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,814	0	0	52,814
経常収益計	2,952,215	329,223	0	493,226	3,924,664	70,744	707,867	0	272,629	1,051,240	1,949,232	0	0	6,925,136
(2) 経常費用														
事業費	3,523,983	587,608	0	0	4,111,591	130,618	863,107	31,047	0	1,024,772	0	0	0	5,136,363
給料手当	183,199	91,600	0	0	274,799	22,900	57,250	11,450	0	91,600	0	0	0	366,399
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	2,260	1,130	0	0	3,390	282	706	141	0	1,129	0	0	0	4,519
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	32,540	0	0	32,540	0	0	0	0	0	0	0	0	32,540
通信運搬費	91,968	24,089	0	0	116,057	6,106	87,361	3,011	0	96,478	0	0	0	212,535
減価償却費	55,504	27,752	0	0	83,256	6,938	17,345	3,469	0	27,752	0	0	0	111,008
消耗什器備品費	0	6,600	0	0	6,600	0	0	0	0	0	0	0	0	6,600
消耗品費	2,247,568	19,494	0	0	2,267,062	1,431	48,777	715	0	50,923	0	0	0	2,317,985
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	230,450	156,200	0	0	386,650	0	44,000	0	0	44,000	0	0	0	430,650
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	63,272	31,636	0	0	94,908	7,909	19,772	3,954	0	31,635	0	0	0	126,543
賃借料	107,552	60,289	0	0	167,841	13,194	189,545	6,597	0	209,336	0	0	0	377,177
保険料	17,080	31,050	0	0	48,130	1,198	2,994	599	0	4,791	0	0	0	52,921
諸謝金	22,872	5,000	0	0	27,872	70,000	0	0	0	70,000	0	0	0	97,872
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費	74,690	43,840	0	0	118,530	0	368,120	0	0	368,120	0	0	0	486,650
業務委託費	169,103	5,500	0	0	174,603	0	0	0	0	0	0	0	0	174,603
広報費	33,000	0	0	0	33,000	0	0	0	0	0	0	0	0	33,000
記念品費	206,700	40,410	0	0	247,110	0	21,682	0	0	21,682	0	0	0	268,792
雑費	18,765	10,478	0	0	29,243	660	5,555	1,111	0	7,326	0	0	0	36,569
管理・運営予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際青年会議所負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本青年会議所負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際協力資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
We Believe購読料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理・運営予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費											2,441,518	0	0	2,441,518
給料手当											549,597	0	0	549,597
退職給付費用											0	0	0	0
福利厚生費											6,780	0	0	6,780
会議費											0	0	0	0
旅費交通費											0	0	0	0
通信運搬費											144,536	0	0	144,536
減価償却費											166,510	0	0	166,510
消耗什器備品費											0	0	0	0
消耗品費											34,344	0	0	34,344
修繕費											0	0	0	0
印刷製本費											206,800	0	0	206,800
燃料費											23,132	0	0	23,132
光熱水料費											189,815	0	0	189,815
賃借料											316,656	0	0	316,656
保険料											28,739	0	0	28,739
諸謝金											0	0	0	0
租税公課											0	0	0	0
渉外費											30,000	0	0	30,000
業務委託費											149,336	0	0	149,336
広報費											0	0	0	0
記念品費											0	0	0	0
雑費											55,548	0	0	55,548
支払い・協賛負担金											0	0	0	0
日本青年会議所負担金											419,100	0	0	419,100
国際協力資金											45,625	0	0	45,625
We Believe購読料											75,000	0	0	75,000
管理・運営予備費											0	0	0	0
基本財産評価損益等											0	0	0	0
基本財産評価損益等											0	0	0	0
特定資産評価損益等											0	0	0	0
特定資産評価損益等											0	0	0	0
投資有価証券評価損益等											0	0	0	0
投資有価証券評価損益等														

科目名	公益目的事業等会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計	
	公① 地域の発展 に寄与する事 業	公② 青少年育成 事業	公③ その他公益 目的事業	共通	小計	他① 会員の資質向 上事業	他② 会員間並びに 諸団体との交 流事業	他③ 会員の 拡大を 図る事業	共通	小計				
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建物売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建物売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-571,768	-258,385	0	493,226	-106,927	-59,874	-155,240	-31,047	272,629	26,468	-492,286	0	-652,745	
一般正味財産期首残高	0	0	0	13,544,984	13,544,984	0	0	0	608,402	608,402	2,026,810	0	16,180,196	
一般正味財産期末残高	-571,768	-258,385	0	14,038,210	13,358,057	-59,874	-155,240	-31,047	881,031	634,870	1,534,524	0	15,527,451	
II 指定正味財産増減の部														
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	-571,768	-258,385	0	14,038,210	13,358,057	-59,874	-155,240	-31,047	881,031	634,870	1,534,524	0	15,527,451	

2022年度貸借対照表
2022年11月30日現在

(単位:円)

科 目	今年度決算	前年度決算	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	37,249	137,836	△ 100,587
立替金		0	0
未収入金	350,000	488,316	△ 138,316
事業仮払金		0	0
その他仮払金		0	0
流動資産合計	387,249	626,152	△ 238,903
2.固定資産			0
(1)基本財産			0
預金	11,333,300	11,333,300	0
土地	0	0	0
建物	2,105,938	2,383,456	△ 277,518
構築物	0	0	0
基本財産合計	13,439,238	13,716,756	△ 277,518
(2)特定資産			0
JC会館修繕積立金	2,247,468	2,227,468	20,000
特定費用準備資金	0	0	0
特定資産合計	2,247,468	2,227,468	20,000
(3)その他固定資産			0
什器備品	0	0	0
出資金	0	0	0
絵画	50,000	50,000	0
その他固定資産	1	1	0
その他固定資産合計	50,001	50,001	0
資産の部合計	16,123,956	16,620,377	△ 496,421
II 負債の部			0
1.流動負債			0
未払金	607,018	439,440	167,578
預り金	2,749	741	2,008
前払い金			0
仮受金			0
流動負債合計	609,767	440,181	169,586
2.固定負債			0
事業積立資産引当金			0
固定負債合計	0	0	0
負債の部合計	609,767	440,181	169,586
III 正味財産の部			0
1.指定正味財産			0
補助金			0
寄付金			0
指定正味財産合計	0	0	0
(内、特定資産への充当額)			0
2.一般正味財産			0
一般正味財産	15,514,189	16,180,196	△ 666,007
一般正味財産合計	15,514,189	16,180,196	△ 666,007
(内、特定資産への充当額)	(内2,247,468)	(内2,687,268)	
正味財産合計	15,514,189	16,180,196	△ 666,007
当期正味財産増加額	609,767	440,181	169,586
負債及び正味財産合計	16,123,956	16,620,377	△ 496,421

貸借対照表（内訳）
2022年11月30日現在

（単位：円）

科目	公益目的 事業会計	その他事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	350,000	0	350,000
東邦銀行一之町支店	0	0	0	0	0
未収入金(事業)	0	0	350,000	0	350,000
流動資産合計	0	0	350,000	0	350,000
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
預金	11,333,300	0		0	11,333,300
建物	1,672,115	433,823		0	2,105,938
構築物					0
基本財産合計	13,005,415	0	0	0	13,439,238
(2) 特定資産					
JC会館修繕積立金	0	0	2,247,468	0	2,247,468
事業準備積立金	0	0	0	0	0
特定資産合計	0	0	2,247,468	0	2,247,468
(3) その他固定資産					
絵画			50,000		50,000
構築物			1		1
その他固定資産合計	0	433,823	50,001	0	50,001
固定資産合計	13,005,415	433,823	2,297,469	0	15,736,707
資産合計	13,005,415	433,823	2,647,469	0	16,086,707
II 負債の部					0
1. 流動負債					0
未払金			607,018		607,018
預り金			2,749		2,749
流動負債合計	0	0	609,767	0	609,767
2. 固定負債					0
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	609,767	0	609,767
III 正味財産の部					0
1. 指定正味財産					0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)					0
(うち特定資産への充当額)					0
2. 一般正味財産	13,005,415	433,823	2,037,702	0	15,476,940
(うち基本財産への充当額)	(内11,333,300)			0	(内11,333,300)
(うち特定資産への充当額)			(内2,807,268)	0	(内2,807,268)
正味財産合計	13,005,415	433,823	2,037,702	0	15,476,940
負債及び正味財産合計	13,005,415	433,823	2,647,469	0	16,086,707

財産目録
2022年11月30日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管			
	預金	普通預金 東邦銀行一之町支店	運営資金として	37,249	
	前払金(JC手帳、保険料前払い)			0	
	退職給与引当金預金			0	
	未収入金	地域創生総合支援事業(サポート事業)		350,000	
流動資産合計				387,249	
(固定資産)	基本財産	定期預金 東邦銀行一之町支店	公益目的保有財産であり、運用益を 公益目的事業に充当している。	11,333,300	
	特定資産	建物 木造亜鉛メッキ平屋建 駐車場コンクリート舗装	169.29㎡ 320㎡ 公益目的保有建築物として所有して 公益目的保有建築物として所有して	2,105,938 1	
		JC会館積立金	定期預金 東邦銀行一之町支店1年	保有建築物の修繕、改築の為の 積み立て資金として管理している	2,247,468
	その他の固定資産	特別事業積立金	定期預金 東邦銀行一之町支店1年	事業実施のための積立資金として 管理している	0
		絵画五十嵐二郎20号			50,000
	固定資産合計				15,736,707
資産合計				16,123,956	
(流動負債)	預り金	従業員に対するもの	職員社会保険料預り金	2,749	
	未払金	翌月支払い分	管理費支出費	607,018	
流動負債合計				609,767	
(固定負債)	退職給与引当金			0	
固定負債合計				0	
負債合計				609,767	
正味財産				15,514,189	

財務諸表に関する注記

2022年11月30日現在

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定額法により行う。

(4) 引当金の計上基準

退職金給与引当金……現在の雇用条件を鑑み退職給与引当金は未計上とした。

(5) キャッシュフロー計算書における資金の範囲

金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前受金、前受金及び立替金、預り金を含めることにしている。なお、前期及び当期末残高は7に記載するとおりである。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

2011年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を適用する。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

単位:円

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	11,333,300	0	0	11,333,300
建物	2,383,456	0	277,518	2,105,938
駐車場	1	0	0	1
小計	13,716,757	0	277,518	13,439,239
合計	13,716,757	0	277,518	13,439,239
科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
JC会館積立金	2,227,468	20,000	0	2,247,468
事業準備積立金	0	0	0	0
小計	2,227,468	20,000	0	2,247,468
合計	2,227,468	20,000	0	2,247,468

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

単位:円

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	11,333,300	0	0	0
建物	2,105,938	0	0	0
駐車場	1	0	0	0
小計	13,439,239	0	0	0
合計	13,439,239	0	0	0
科目 <th>当期末残高</th> <th>(うち指定正味財産からの充当)</th> <th>(うち一般正味財産からの充当)</th> <th>(うち負債に対応する額)</th>	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
JC会館積立金	2,247,468	0	20,000	0
事業準備積立金	0	0	0	0
小計	2,247,468	0	20,000	0
合計	2,247,468	0	20,000	0

6. 担保に供している資産
該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価格	本年度償却額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	10,317,090	0	10,317,089	1	昭和53年取得 定額法24年 残存価格5%
建物	3,300,000	0	3,299,999	1	平成元年取得 (フロー増築) 定額法24年
建物	2,814,000	106,369	2,386,972	427,028	平成12年7月取得 (トイレ増築) 定額法24年
駐車場	400,000	0	399,999	1	昭和52年取得 定額法10年 残存価格5%
建物	4,074,993	171,149	2,396,086	1,678,907	平成21年取得 定額法24年 (フロー改修) 残存価格5%
合計	20,906,083	277,518	18,800,145	2,105,938	

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

単位:円

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	当期末残高
預り金	2,730	0	3,735
未払金	408,285	0	19,051
合計	411,015	0	22,786

9. 保証債務等の偶発債務
該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

単位:円

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
会津絵ろうそくまつり運営委託費	会津まつり協会	0	2,431,863	2,431,863	0	残高0の為なし
地域創生総合支援事業 (サポート事業)	福島県	0	0	350,000	-350,000	未収入
合計		0	2,431,863	2,781,863	-350,000	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

内 容	金 額
該当なし	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容
該当なし。
15. キャッシュフロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当なし。
16. 重要な後発事象
該当なし。
17. その他
該当なし。

2022年12月13日

監査報告書

公益社団法人 会津青年会議所
理事長 鈴木 亮平 殿

公益社団法人 会津青年会議所

監事 明田 圭右 

監事 二瓶 孝文 

私達は、2021年12月1日から2022年11月30日までの会計年度における会計及び事業・業務の監査を行い、以下の通り報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 事業・業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

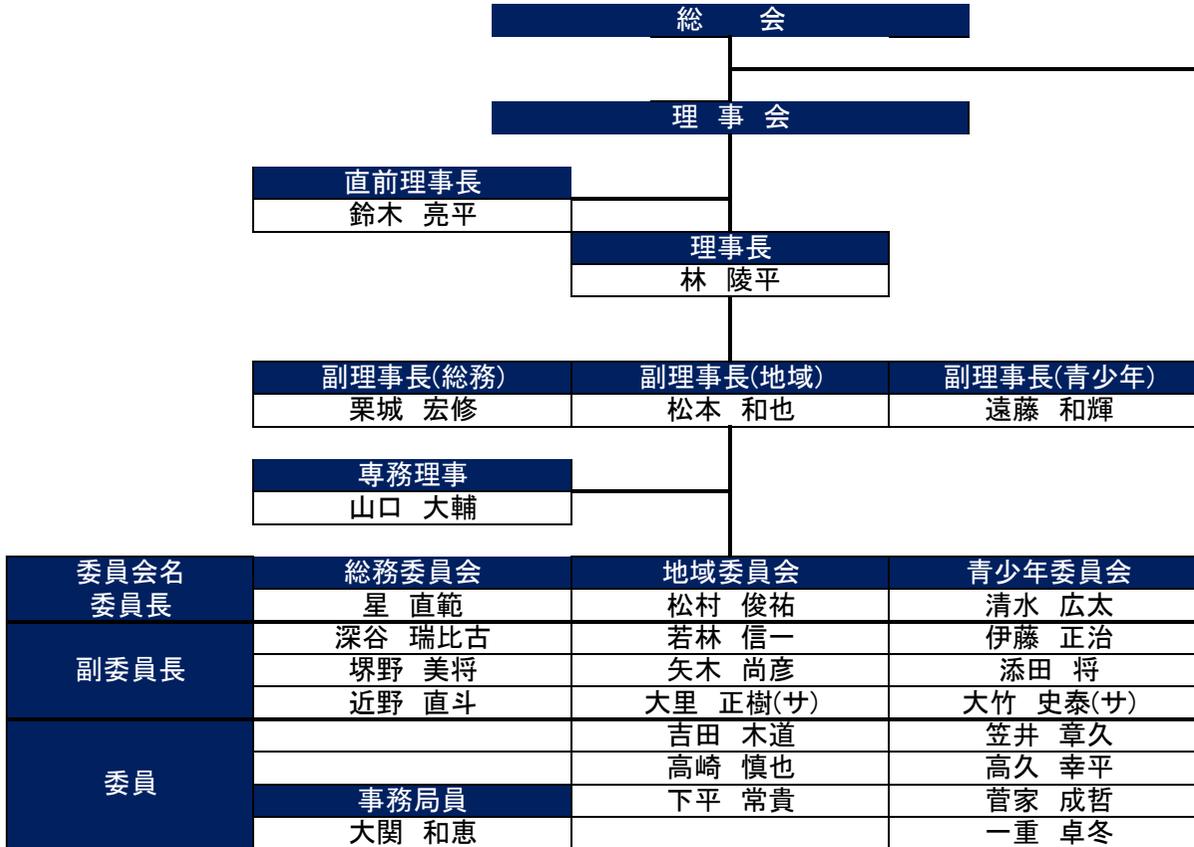
- (1) 収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

公益社団法人 会津青年会議所

2023度
事業計画書・予算書

自 2022年12月 1 日
至 2023年11月30日

2023年度 組織図



監 事 星 辰典
監 事 田中 厚

(公社)日本青年会議所	
(公社)日本青年会議所 東北地区協議会	
(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会	
監査担当役員	星 辰典
アカデミー委員会	副委員長 松本 和也 幹事 若林 信一 委員 添田 将
福島の未来創造委員会	栗城 宏修
ブロック大会実行委員会	委員 田中 厚 委員 鈴木 亮平
組織連携推進委員会	遠藤 和輝
総務広報委員会	深谷瑞比古

理事長所信

第67代理事長 林 陵平

【はじめに】

会津青年会議所は、全国で24番目に福島県初の青年会議所として設立され、これまで諸先輩方が「地域のために」運動を続けて72年目を迎えます。私たちとこれからともに活動していく仲間は、長きにわたり数々の功績を残してきた団体に所属していることに誇りと責任をもって日々活動を進めていかななくてはなりません。

3年前に突如発生した新型コロナウイルス感染症によって生活様式は大きく変化し、感染拡大を避けるため行動は制限され我々の運動も縮小・中止を余儀なくされました。現在では感染対策は求められますが運動の制限は少なくなり、地域活動が活発している今こそ、青年会議所が目的として掲げる「明るい豊かな社会」を実現するために先陣を切って地域課題解決に向けた運動を展開していく必要があります。我々はこの3年間コロナ禍でも出来ることはないか常に試行錯誤し活動・運動を継続してきました。その経験と知識を活かして活動・運動を進めていく中で地域の発展だけでなく会員の成長にも重点をおき、地域のリーダーとなるべく運動を進めていきます。

【会員の成長】

青年会議所の活動・運動では会員にそれぞれ役割があり、その中に多くの学びの機会があります。しかし、会員数の減少により割り振られる役割が増加し、それらをこなすことに終始してしまい、事業を通して得られる学びに気付けなくなっています。そこで学びが多くあるという意識付けをすることにより、事業で得られる会員の資質向上の効果が増大すると考えます。会員の成長無くして質の高い活動・運動は展開できません。会員が減少している今だからこそ会員の資質向上について今一度考えなくてはなりません。

さらに、青年会議所の一つの特徴として単年度制があり、役職に応じた役割を1年間全うすることで能力を高め、多角的な目を養い、人として成長をしていくことができます。会員が成長していくことで周りの人をまとめ上げられる地域のリーダーに近づきます。1年後に事業や役職を通して自分がどう成長したいかを想像しながら1年間を過ごし、家族・従業員・地域の人から憧れられる存在をともに目指しましょう。

【成長が人を繋げる】

青年会議所は20歳から40歳の限られた年代で活動する団体であり、今年度は25名でのスタートとなります。「明るい豊かな社会」の実現のために効果的かつ影響力の高い事業を展開するには会員の確保が不可欠です。

組織の魅力を創るのは人だと考えます。会員が会津のことを想い、必死に活動して成長していく姿を青年世代に見せることが一番の会員拡大活動だと信じています。それゆえ、参加意欲を掻き立てられる魅力ある事業を展開するのは当然ながら、会員候補者となる同世代へ参加の機会を提供する積極的な発信活動が必要です。会員拡大は一人ではできませ

ん。それゆえに全会員で取り組み、会津の未来を創る持続可能な活動・運動を行う会津青年会議所を創り上げます。

【持続可能な組織の構築】

会津青年会議所では近年会員数の減少から効率的な運営が求められています。しかし、今でも一部の資料やデータの管理がアナログで行われており、作成・管理に膨大な時間と労力が割かれているのが現状です。

コロナ禍を経験したことで、世の中では在宅勤務やウェブでの会議など接触回避の中からこれまでにない組織の運営が確立されてきています。会員数が少ない今こそ新しい技術を取り入れ効率的かつ確実な管理をすることで組織の運営を進めていかなければなりません。少人数でも持続可能な組織の確立には技術だけでなく、それを支える会員の資質向上も必須です。新たな技術や考え方を学び、自らの能力にすることで会員に不足しているスキルを補い、知識を共有することで組織全体の資質向上を進め、盤石かつ持続可能な組織を目指します。

【新たな課題に取り組む】

会津には四季を通じた自然や歴史的な建造物が数多く存在しており、魅力に溢れた地域といえます。一方で、歴史や文化を大事にしながらもスマートシティ会津若松という全国的にみても先進的な取り組みを進めています。この取り組みは地方都市の問題を解決するうえで有用な手法です。地域住民がこの利便性を体験することで興味を持ち、地域一体となった活用が実現します。この経過こそが、同構想が実現すべき姿であると考えます。我々は、構想の実現のため行政と共に推進し、地域住民に対し利便性を知る機会を提供する必要があります。

一方で、これまで先輩方が地域課題を解決するために事業を展開し、現在も継続事業として行っているものがあります。過去の事業を踏襲しつつ、今の会津青年会議所だから出来る独自性のある事業を展開し、より地域に根差した団体となることが必要です。我々には何が出来るのかを見極めて事業を構築し、確実に地域課題を一つずつ解決していきます。

【熱い想いをつなげる】

我々は明るく豊かな社会の実現のために熱い想いをもち日々活動・運動を行っています。明るい豊かな社会はその時々によって理想が変わるものであり、その理想に近づけるためには、継続的な活動が必要不可欠であり、熱い想いを若い世代へ継続的に繋げていく必要があります。

熱い想いとはスポーツ・勉強においても同じことがいえ、必ず目的を達成するという想いを持って取り組む姿勢でのことです。目的を実現するためにがむしゃらに行動する姿は自らを成長させるだけでなく周囲の人に影響を与え、周囲を巻き込む地域のリーダーとなる人財になると考えます。

我々は運動を通して子どもたちと触れ合う中で我々の想いを伝播させ、熱い想いを持った会津の未来を担う若き人財を育成していきます。

【更なる高みを目指して】

青年会議所には素晴らしい人材がおり、会津青年会議所以外にも優秀で個性的・魅力的な人材がいます。その同志たちと繋がることができるのが出向であり、福島県内だけでなく全国、世界までつながることができ、会津青年会議所だけでは経験できないような規模の活動・運動に携わることができます。同志たちと切磋琢磨する中で更なる自己成長を実現することができる出向こそが青年会議所の魅力だと考え、会員が自己成長のために出向に挑戦できる土台を創りあげます。出向者が増えることで会員個人の成長が進むことで組織の価値を上げることを目指します。

また、会津青年会議所では歴史的に深い繋がりがある地域であるむつと函館の地で運動を続けている青年会議所と姉妹青年会議所を締結しております。出向での繋がり以外で他青年会議所と交流が続けられるこの繋がりやの尊さと重要性を全会員で共有し、先輩方が結んだこの縁を大事に姉妹青年会議所と交流を続け、その中で得た経験と知識をこれからの活動・運動に繋げます。

【最後に】

まちをより良くすることは決して簡単なことではありません。しかし、行動を起こさなければ何も変わらず、具体的に行動しなければ社会は変化しません。我々はこれからも「明るく豊かな社会」を実現するための地域課題を追求し常に前を向いて邁進します。

本年度のスローガン「ともに成長しよう！未来のために」の「ともに」の言葉には地域課題を解決する活動・運動の過程で地域発展だけでなく会員の成長も実現しなければいけないという想いが込められています。会員の成長が会津青年会議所の質を向上させ、地域課題解決の力を向上させます。

新しいことに挑戦するということは、新たな技術や手法を学ぶだけでなく地域のリーダーになる為の自己成長の機会に溢れています。青年会議所では社業では躊躇してしまうようなことでも挑戦できる団体だと先輩から教えられたことがあります。挑戦することで何を学び、改善点を見出し、次に活かせる方法を考える過程が重要です。もとより、事業を成功させることに対して努力と準備を怠ってはいけませんが、事業を立案する委員長をはじめとする各委員会には過去の事業を踏襲しつつ、新たな課題に挑戦することに躊躇せず1年間取り組んでいきましょう。

＜基本理念＞

新しいことに挑戦し続けることが
地域に新しい波を引き起こす。

＜スローガン＞

ともに成長しよう！未来のために
～地域課題解決の鍵は自己成長～

＜基本方針及び事業計画＞

1. 会津青年会議所全体として取り組む事業
 - ・ 公益社団法人日本青年会議所及び東北地区協議会
福島ブロック協議会への積極的な参加、支援
 - 第53回福島ブロック大会 in 猪苗代への積極的な参加、支援
 - ・ 姉妹青年会議所との交流
2. 会津青年会議所が委員会を通して取り組む事業
 - ・ 持続可能な組織形成事業
 - ・ 新たな地域課題に取り組む事業
 - ・ 熱い想いを持つ青少年育成事業
 - ・ 会員拡大
3. 会津青年会議所が行政、他団体と協力して行う事業
 - ・ 会津絵ろうそくまつり
 - ・ わんぱく相撲

＜委員会構成＞

1. 総務委員会
 - ・ 総務、広報、財務
 - ・ 総会、理事会など諸会議の運営
 - ・ 会員に関する資料の管理
 - ・ 持続可能な組織形成事業
2. 地域委員会
 - ・ 新たな地域課題に取り組む事業
 - ・ 絵ろうそくまつり
3. 青少年委員会
 - ・ 熱い想いを持つ青少年育成事業
 - ・ わんぱく相撲大会

総務委員会

委員長 星 直範
副委員長 深谷 瑞比古
副委員長 堺野 美将
副委員長 近野 直斗

〈スローガン〉

Challenge ～持続可能な組織を目指して～

■基本方針

私たち会津青年会議所は、明るい豊かな社会の実現のため日々活動しています。しかし、会員数は年々減少し10年前に比べ半数になりました。限られた人数の中で最大限のパフォーマンスを発揮していくためには、新たな手法を取り入れることや、会員が自ら考え行動するための学びの場を提供していく必要があると考えます。

そのためには、クラウドサービスの導入や各委員会が事業を円滑に実行するためのタスク管理を取り入れ、意欲的に活動できる環境を整え業務効率化を図ります。また、SNSを有効活用し青年会議所活動を地域へ広く発信することで、青年会議所の魅力を普及し会員拡大に繋げていきます。そして、会員に不足しているスキルを補うために資質向上を促し、青年会議所全体の成長に繋げていきます。

私たち総務委員会は新たな手法に挑戦し、一人ひとりが未来のために自ら考え行動することで、盤石かつ持続可能な組織を目指し一年間活動していきます。

■事業計画

〈例会〉

- | | |
|--------------------------|----------------|
| (1) 新年会 (1月例会) | (4) 納会 (11月例会) |
| (2) 会員の資質向上に繋がる事業 (4月例会) | (5) 総会 (12月例会) |
| (3) 総会 (8月例会) | |

〈業務〉

- (1) 総務
 - ①会員台帳・名簿・JC手帳の作成
 - ②管理全般 (JC会館、備品、各種資料、ホームページ、新入会員への入会手続き業務、管理全般、財務諸表管理の補佐)
 - ③総会の運営
 - ④各種会議の設営・セクレタリー及び議事録の作成
- (2) 広報部門
 - ①広報誌「明日のために」1月作成・発行
 - ②ホームページ、その他各種媒体 (SNS等) を活用した情報の発信
 - ③各種事業における広報活動の支援

地域委員会

委員長 松村 俊祐
副委員長 若林 信一
副委員長 矢木 尚彦
副委員長 大里 正樹

<スローガン>

地域の交流が未来を切り拓く！

■基本方針

私たちが目指す理想は会津が明るく笑顔に満ち溢れた地域です。従来は祭りなどの文化が各地域に根付いており、交流が活発に行われていました。しかしながら、現代は生活様式や娯楽の多様化により、個人の活動が尊重され、選択の自由が増えたことにより地域の交流が希薄化していると考えます。

地域を良くするには交流することが必要です。実際に交流することで多様な思いや考えを話し、共感することで自身にない新たな意見が出てきます。多様な意見を聞き、話し合うことで相互理解を深めるだけでなく、新たな地域の良い点や改善点に気付くことが出来ます。また、多様な意見を交わすことで新たなコミュニティが生まれ、それぞれの地域交流が活発化して、今までにないより良い地域の循環が構築され则认为ます。

本年度の地域委員会では、未来を切り拓くための原動力となる地域交流の機会を創出し、持続可能な地域が実現できるよう運動を展開して参ります。

■事業計画

- (1) 会津絵ろうそくまつり（2月例会）
- (2) 新たな地域課題に取り組む事業（6月例会）
- (3) 石垣を守る事業（10月例会）

青少年委員会

委員長 清水 広太
副委員長 伊藤 正治
副委員長 添田 将
副委員長 大竹 史泰

〈スローガン〉

You got a chance ～経験を糧に～

■基本方針

未来の日本を支えていくのは現在の子どもたちです。今は、多様化の時代であり、個々の力が試されています。この社会を生き抜くには成長過程での経験が重要になり、多くの経験を積むことが子どもたちの成長に繋がります。

子どもの頃に経験したことは将来必ず役に立ちます。成長していくと多くの壁にぶつかります。挫けそうな時、何かにチャレンジする時に助けになるのは経験であり自分自身の力です。何事にも積極的にチャレンジする負けない熱い想いを多くの経験から培い、1人の自立した大人になることが自分自身の明るい未来に繋がります。限られた時間の中で、今しかできない経験の場を提供していくのが青年会議所であり、それが子どもたちのためにもなります。

今年度青少年委員会では、子どもの頃に経験したことを将来の糧として、何事にも積極的にチャレンジし、今まで経験したことを次世代に伝えることができる人財育成を目的に事業展開していきます。

■事業計画

例会

- (1) 四季を楽しむ事業（3月例会）
- (2) わんぱく相撲あいづ場所（5月例会）
- (3) 野外体験事業（9月例会）

収入の部			2022年度 決算	2023年度 予算	差異	摘要	
科	大 科 目	中 科 目					
		小 科 目					
事業活動収入	①	基本財産運用収入	226	226	0	基本財産の受取利息	
	②	特定資産運用収入	44	44	0	特定資産の受取利息	
	③	入会金収入	260,000	650,000	390,000	@65,000×10人	
	④	会費収入	正会員年会費収入	0	0	0	
			正会員年会費収入	2,875,000	3,125,000	250,000	@125,000×25人
			新入会員年会費収入	200,000	600,000	400,000	@60,000×10人
			賛助会員年会費収入	0	0	0	賛助会員なし
			特別会員年会費収入	20,000	40,000	20,000	@20,000×2人(卒業生)
			サポート会員年会費収入	75,000	75,000	0	現在2名 新規1名
			計	3,170,000	3,840,000	670,000	
	⑤	事業収入	事業費繰入収入	0	0	0	
			登録料収入計	524,340	15,000	-5,340	
			わんぱく相撲登録料	9,000	15,000	6,000	500円×30人=合計15,000円
			青少年事業	11,340	0	-11,340	
			総務事業	0	0	0	
			三役	504,000	0	-504,000	【前年】函館姉妹結縁25周年 登録料5,000×50人
			広告費収入	0	0	0	
			販売収入	0	0	0	
			業務受託収入	50,000	50,000	0	○日会事務委託費 50,000円
			家賃・会議室料収入	0	0	0	
			雑収入	10,841	0	-10,841	
			計	585,181	65,000	-520,181	
			⑥	補助金等収入	国庫補助金収入	0	0
	地方公共団体補助金収入	350,000			200,000	-150,000	サポート事業 青少年3月50,000 9月150,000
	民間補助金収入	2,431,863			3,000,000	568,137	会津絵ろうそくまつり実行委員会(絵ろうそくまつり補助金として)
	地方公共団体助成金収入	0			0	0	
	民間助成金収入	0			0	0	
	計	2,781,863	3,200,000	418,137			
	⑦	寄付金収入	寄付金収入	75,000	40,000	-35,000	会津JC応援企業 4社 × 10,000
			募金収入	0	0	0	
計	75,000	40,000	-35,000				
⑧	雑収入	受取利息収入	8	0	-8		
		受その他雑収入	52,814	34,730	-18,084	自動販売機	
計	52,822	34,730	-18,092				
⑨	他会計からの繰入金収入	一般会計からの繰入金収入	0	0	0		
		特別会計からの繰入金収入	0	0	0		
		基金会計からの繰入金収入	0	0	0		
計	0	0	0				
事業活動収入計			6,925,136	7,830,000	904,864		

支出の部		2022年度 決算	2023年度 予算	差異	摘要			
事業活動支出	① 事業費支出	三役	535,390	0	-535,390	7月例会 ブロック大会		
		小計	1,112,027	0	-1,112,027			
		総務委員会	120,230	150,000	29,770	1月例会 新年会		
			70,744	50,000	-20,744	4月例会		
			11,000	50,000	39,000	11月例会 納会		
		小計	201,974	250,000	48,026			
		青少年委員会	120,080	100,000	-20,080	3月例会		
			150,483	265,000	114,517	5月例会 わんぱく相撲		
			68,660	200,000	131,340	9月例会		
		小計	339,223	565,000	225,777			
		地域委員会	2,431,863	3,000,000	568,137	2月例会 会津線ろうそくまつり		
			54,574	60,000	5,426	6月例会		
			5,388	400,000	394,612	10月例会		
		小計	2,491,825	3,460,000	968,175			
		委員会運営費支出	0	0	0			
		事業予備費支出	0	0	0			
		合計	4,145,049	4,275,000	129,951			
		事業活動支出	② 管理費支出	給料手当	915,996	739,500	-176,496	事務局員費(156日・基本給・残業・交通費等)
				退職給付費用	0	0	0	
				福利厚生費	11,299	2,200	-9,099	労働保険料
会議費	0			6,300	6,300	定時総会はがき代(25名×2回×126円)		
旅費交通費	0			6,349	6,349			
通信運搬費	240,892			276,517	35,625	電話電報代・年賀状・FAX代・切手代・PC等		
減価償却費	277,518			277,518	0			
消耗什器備品費	0			0	0			
消耗品費	57,239			100,000	42,761	コピー・カンタ・コピー用紙・印鑑他		
修繕費	0			0	0			
印刷製本費	206,800			240,000	33,200	20-ガッ旗・会員手帳・名刺・年賀状カード・リーフレット		
燃料費	23,132			50,000	26,868	灯油代		
光熱水料費	316,358			350,000	33,642	電気・ガス・水道代		
賃借料	527,760			378,191	-149,569	地代・AEDJ-ス料		
保険料	47,900			47,900	0	火災保険料		
諸謝金	0			0	0			
租税公課	0			0	0	登記料・収入印紙代		
渉外費	30,000			30,000	0	わんぱく・香典・祝電・御祝・協賛		
業務委託費	149,336			150,000	664	サーバ-管理費等・ALSOK		
広報費	0			30,000	30,000	年賀及び一般広告代		
記念品費	0	0	0					
雑費	88,877	100,000	11,123	振込振替手数料・新聞代・初穂料				
管理・運営予備費	0	0	0	新入会員関連				
計	2,893,107	2,784,475	-108,632					
事業活動支出	③ 負担金	支払い・協賛負担金	0	0	0			
		J C I 負担金	41,600	59,150	17,550	@1,690×35人		
		日本 J C 負担金	30,000	30,000	0	基本金30,000 (50人以下予定のため)		
		日本 J C 付加金	125,000	175,000	50,000	付加金@5,000×35人		
		日本 J C 出向者負担金	20,000	20,000	0	基本金@20,000		
		東北地区協議会負担金	5,000	5,000	0	基本金5,000		
		東北地区協議会付加金	37,500	52,500	15,000	付加金@1,500×35人		
		東北地区協議会出向者負担金	0	10,000	10,000	負担金@10,000×1人		
		福島ブロック協議会負担金	35,000	35,000	0	基本金35,000		
		福島ブロック協議会付加金	125,000	175,000	50,000	付加金@5,000×35人		
		国際協力資金	45,625	63,875	18,250	@1825×35人		
		機関誌購読料	75,000	105,000	30,000	We Believe購読料@3,000×35人		
			0	0	0			
		計	539,725	730,525	190,800			
		事業活動支出	④ 他会計への繰入金支出	一般会計への繰入金支出	0	0	0	
特別会計への繰入金支出	0			0	0			
基金会計への繰入金支出	20,000			40,000	20,000	@20,000×2人		
計	20,000	40,000	20,000					
事業活動支出	⑤ その他支出		0	0	0			
		計	0	0	0			
事業活動支出計		7,597,881	7,830,000	232,119				
事業活動収支差額		-672,745	0	672,745				

正味財産増減計算書

2022年11月30日現在

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	増減	適用
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	226	226	0	
基本財産受取利息	226	226	0	定期預金(東邦銀行)
基本財産受取配当金			0	
基本財産受取賃貸料			0	
特定資産運用益	44	44	0	
特定資産受取利息	44	44	0	定期預金(東邦銀行)
特定資産受取配当金			0	
特定資産受取賃貸料			0	
受取入金	650,000	260,000	390,000	
受取入金	650,000	260,000	390,000	@65,000×10人
受取会費	3,840,000	3,170,000	670,000	
正会員会費	3,125,000	2,875,000	250,000	@125,000×25人
新入会員会費	600,000	200,000	400,000	@60,000×10人
サポーター会員会費	75,000	75,000	0	現在2名 新規1名
特別会員会費	40,000	20,000	20,000	@20,000×2人(卒業生)
事業収益	65,000	585,181	△ 520,181	
登録料収益	15,000	524,340	△ 509,340	わんぱく相撲登録料 函館姉妹JC記念式典登録料
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
事務局受託収益	50,000	50,000	0	OB会事務委託費 50,000円
雑収益	0	10,841	△ 10,841	
受取補助金等	3,200,000	2,781,863	418,137	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	200,000	350,000	△ 150,000	周年事業 サポート事業
受取民間補助金	3,000,000	2,431,863	568,137	会津絵ろうそくまつり実行委員会 (絵ろうそくまつり補助金として)
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取補助金等振替額	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
受取寄付金	40,000	75,000	△ 35,000	
受取寄付金	40,000	75,000	△ 35,000	会津JC応援企業 4社 × 10,000
募金収益	0	0	0	
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	34,730	52,822	△ 18,092	
受取利息	0	8	△ 8	
特別会計からの繰入金収入	0			
雑収益	34,730	52,814	△ 18,084	自動販売機
経常収益計	7,830,000	6,925,136	904,864	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
(2)經常費用				
事業費	5,388,828	5,164,114	224,714	
給料手当	397,569	366,399	31,170	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	2,225	4,519	△ 2,294	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	60,000	32,540	27,460	
通信運搬費	191,836	212,535	△ 20,699	
減価償却費	129,505	138,759	△ 9,254	
消耗什器備品費	80,000	6,600	73,400	
消耗品費	2,374,185	2,317,985	56,200	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	59,000	430,650	△ 371,650	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	163,328	126,543	36,785	
賃借料	260,382	377,177	△ 116,795	
保険料	92,353	52,921	39,432	
諸謝金	47,400	97,872	△ 50,472	
租税公課	0	0	0	
渉外費	384,000	486,650	△ 102,650	
業務委託費	598,400	174,603	423,797	
広報費	285,600	33,000	252,600	
記念品費	155,000	268,792	△ 113,792	
雑費	108,045	36,569	71,476	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	0	0	0	
			0	
			0	
管理費	2,401,172	2,413,767	△ 12,595	
給料手当	341,931	549,597	△ 207,666	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	-25	6,780	△ 6,805	
会議費	6,300	0	6,300	
旅費交通費	6,349	0	6,349	
通信運搬費	147,481	144,536	2,945	
減価償却費	148,013	138,759	9,254	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	53,335	34,344	18,991	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	240,000	206,800	33,200	
燃料費	50,000	23,132	26,868	
光熱水料費	186,672	189,815	△ 3,143	
賃借料	201,709	316,656	△ 114,947	
保険料	25,547	28,739	△ 3,192	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	30,000	30,000	0	
業務委託費	150,000	149,336	664	
広報費	30,000	0	30,000	
記念品費	0	0	0	
雑費	53,335	55,548	△ 2,213	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	730,525	539,725	190,800	
基本財産評価損益等	0	0	0	
基本財産評価損益等			0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等			0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0		0	
經常費用計	7,790,000	7,577,881	212,119	
評価損益等調整前当期經常増減額	40,000	-652,745	692,745	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等		0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期經常増減額	40,000	-652,745	692,745	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益			0	
車両運搬具売却益			0	
什器備品売却益			0	
土地売却益			0	
借地権売却益			0	
電話加入権売却益			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
建物売却損			0	
車両運搬具売却損			0	
什器備品売却損			0	
土地売却損			0	
借地権売却損			0	
電話加入権売却損			0	
固定資産減損損失	0	0	0	
土地減損損失			0	
投資有価証券減損損失			0	
災害損失	0	0	0	
災害損失			0	
経常外費用計	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	40,000	-652,745	692,745	
一般正味財産期首残高	15,527,451	16,180,196	△ 652,745	
一般正味財産期末残高	15,567,451	15,527,451	40,000	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
受取国庫補助金			0	
受取地方公共団体補助金			0	
受取民間補助金			0	
受取国庫助成金			0	
受取地方公共団体助成金			0	
受取民間助成金			0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金			0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
基本財産評価益	0	0	0	
基本財産評価益			0	
特定資産評価益	0	0	0	
特定資産評価益			0	
基本財産評価損	0	0	0	
基本財産評価損			0	
特定資産評価損	0	0	0	
特定資産評価損			0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
一般正味財産への振替額			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	15,567,451	15,527,451	40,000	

正味財産増減計算書内訳

(単位 円)

科目名	公益目的事業等会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	公① 地域の発展 に寄与する事 業	公② 青少年育成 事業	公③ その他公益目 的的事业	共通	小計	他① 会員の資質向 上事業	他② 会員間並びに 諸団体との交 流事業	他③ 会員の拡充を 図る事業	共通			
1 一般正味財産増減の部												
1 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	0	0	0	226	226	0	0	0	0	0	0	226
基本財産受取利息	0	0	0	226	226	0	0	0	0	0	0	226
基本財産受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取賃貸料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	44
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	44
特定資産受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取賃貸料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	195,000	195,000	455,000	850,000
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	195,000	195,000	455,000	850,000
受取会費	420,000	350,000	0	1,200,000	1,970,000	50,000	200,000	0	150,000	400,000	1,470,000	3,840,000
正会員会費	420,000	350,000	0	1,000,000	1,770,000	50,000	200,000	0	50,000	300,000	1,050,000	3,125,000
新入会員会費	0	0	0	200,000	200,000	0	0	0	50,000	50,000	350,000	600,000
サポーター委員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000	25,000	75,000
特別会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,000	40,000
事業収益	0	15,000	0	0	15,000	0	0	0	0	0	50,000	65,000
登録料収益	0	15,000	0	0	15,000	0	0	0	0	0	0	15,000
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務委託収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	50,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	3,000,000	200,000	0	0	3,200,000	0	0	0	0	0	0	3,200,000
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	200,000	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000
受取民間補助金	3,000,000	0	0	0	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	40,000	0	0	0	40,000	0	0	0	0	0	0	40,000
受取寄付金	40,000	0	0	0	40,000	0	0	0	0	0	0	40,000
基金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34,730	34,730
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34,730	34,730
経常収益計	3,460,000	565,000	0	1,200,226	5,225,226	50,000	200,000	0	345,000	595,000	2,009,774	7,830,000
(2) 経常費用												
事業費	3,885,988	931,170	0	0	4,817,158	78,398	493,292	0	0	571,690	0	5,388,828
給料手当	138,656	154,200	0	0	292,856	9,244	95,469	0	0	104,713	0	397,569
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	413	1,900	0	0	1,913	28	284	0	0	312	0	2,225
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	60,000	0	0	60,000	0	0	0	0	0	0	60,000
通信運搬費	59,647	38,035	0	0	97,682	3,456	90,698	0	0	94,154	0	191,836
減価償却費	52,035	38,173	0	0	90,208	3,469	35,828	0	0	39,297	0	129,505
消耗什器備品費	0	80,000	0	0	80,000	0	0	0	0	0	0	80,000
消耗品費	2,248,270	83,755	0	0	2,332,025	6,250	35,910	0	0	42,160	0	2,374,185
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	59,000	0	0	59,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	65,625	48,143	0	0	113,768	4,375	45,185	0	0	49,560	0	163,328
賃借料	92,511	73,320	0	0	165,831	24,727	69,824	0	0	94,551	0	260,382
保険料	38,911	46,589	0	0	85,500	599	6,184	0	0	6,783	0	92,353
諸謝金	32,400	10,000	0	0	42,400	5,000	0	0	0	5,000	0	47,400
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費	320,000	54,000	0	0	374,000	10,000	0	0	0	10,000	0	384,000
業務委託費	598,400	0	0	0	598,400	0	0	0	0	0	0	598,400
広報費	159,600	115,000	0	0	274,600	0	11,000	0	0	11,000	0	285,600
記念品費	10,000	105,000	0	0	115,000	10,000	30,000	0	0	40,000	0	155,000
経費	69,430	23,455	0	0	92,885	1,250	13,910	0	0	15,160	0	108,045
管理・運営予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際青年会議所負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本青年会議所負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際協力資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,401,172	2,401,172
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広報費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
記念品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払い・協賛負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本青年会議所負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際協力資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
We Believe購読料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理・運営予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損益等												
基本財産評価損益等												
特定資産評価損益等												
特定資産評価損益等												
投資有価証券評価損益等												
投資有価証券評価損益等												
経常費用計	3,885,988	931,170	0	0	4,817,158	78,398	493,292	0	0	571,690	2,401,172	7,790,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-425,988	-366,170	0	1,200,226	408,068	-28,398	-293,292	0	345,000	23,310	-391,398	40,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-425,988	-366,170	0	1,200,226	408,068	-28,398	-293,292	0	345,000	23,310	-391,398	40,000

科目名	公益目的事業等会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計	
	公① 地域の発展 に寄与する事 業	公② 青少年育成 事業	公③ その他公益目 的的事业	共通	小計	他① 会員の資質向 上事業	他② 会員間並びに 諸団体との交 流事業	他③ 会員の 拡大を 図る事業	共通	小計				
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建物売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建物売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額														
当期一般正味財産増減額	-425,868	-366,170	0	1,200,226	408,088	-28,396	-293,292	0	345,000	23,310	-391,368	0	40,000	
一般正味財産期首残高	0	0	0	13,324,635	13,324,635	0	0	0	549,160	549,160	2,307,401	0	16,180,196	
一般正味財産期末残高	-425,868	-366,170	0	14,524,861	13,732,723	-28,396	-293,292	0	893,160	571,470	1,916,033	0	16,220,196	
Ⅱ 指定正味財産増減の部														
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	-425,868	-366,170	0	14,524,861	13,732,723	-28,396	-293,292	0	893,160	571,470	1,916,033	0	16,220,196	

今後の予定(2023年度分)

2022年12月13日現在

年	月	日	曜日	事業	時間	場所	服装	対象	備考
2022	10月	17日	水	第一回エリア会議					
		26日	金	第1回模擬三役会	17:00	会津青年会議所会館	自由	三役	
		27日	金	FB 第1回会員会議所予定者会議	17:00	白河	正装	理事長・専務お付	
		31日	月	第1階模擬理事会	19:30	会津青年会議所会館	自由	理事	
	11月	2日	月	第2回模擬理事会	19:30	会津青年会議所会館	自由	理事	
		14日	土	第二回エリア会議					
		21日	火	第2回模擬三役会	12:00	会津青年会議所会館	自由	三役	
		27日	日	FB 第2回会員会議所予定者会議	9:00	福島	正装	理事長・専務お付	
				FB 福島ブロック卒業式	17:30	いわき	正装		
		27日	金	会津JCOB総会	19:30	会津青年会議所会館	正装	理事	
	12月	30日	月	第3回模擬理事会	19:30	会津青年会議所会館	自由	理事	
		2日	土	地区卒業式		福島	正装	全会員	
		6日	月	第3回模擬理事会	19:30	会津青年会議所会館	正装	理事	
		21日	金	FB 第3回会員会議所予定者会議	19:00	浪江	正装	理事長・専務お付	
	2023	1月	4日	木	事務所開き		会津青年会議所会館	正装	全会員
4日			木	新年市民交歓会	11:00	中の島	正装	理事長・専務・地域担当副理事長・地域委員長	
5日			金	会津JC新年会		ワシントンホテル	正装	全会員	
7日			日	成人式		会津風雅堂	正装	理事長	
9日			火	第2回理事会	19:30	会津青年会議所会館	正装	理事	
20~22日				京都会議		京都	正装	全会員	
2月		5日	金	FB 会員会議所会議		白河	正装	理事長・専務	
		5~6日	金	FB 新春のつどい		白河	正装	理事長・専務	
		6日	火	第3回理事会	19:30	会津青年会議所会館	正装	理事	
		10,11日		絵ろうそくまつり		鶴ヶ城	自由	全会員	
3月		5日	金	FB 会員会議所会議		喜多方	正装	理事長・専務	
		6日	月	第4回理事会	19:30	会津青年会議所会館	正装	理事	
		13日	火	例会 総務委員会		会津	正装	全会員	
		27日	土	N 日本青年会議所 総会			正装		

2023年

4月	6日	金	第5回理事会	19:30	会津青年会議所会館	正装	理事	
	9日	金	FB 会員会議所会議		本宮	正装	理事長・専務	
	13日	金	例会 総務委員会				全会員	
5月	7日	月	第6回理事会		会津青年会議所会館	正装	理事	
	12日	水	FB 会員会議所会議		浪江	正装	理事長・専務	
	13日	月	5月例会 青少年委員会					
6月	6日	水	第7回理事会		会津青年会議所会館	正装	理事	
			わんぱく相撲 福島ブロック大会				全会員	
7月	1日	土	FB 会員会議所会議		猪苗代	正装	理事長・専務	
	1~2日		福島ブロック大会in猪苗代		猪苗代	正装	全会員	
	6日	火	第8回理事会		会津青年会議所会館	正装	理事	
	17~18日		サマコン				全会員	
			福島LOM周年					
			白河LOM周年					
8月	6日	月	第9回理事会		会津青年会議所会館	正装	理事	
			たなぶ祭り		むつ	自由	全会員	
			8月総会			正装	全会員	
9月	4~5日	土	東北青年フォーラム		北上			
	6日	月	第10回理事会		会津青年会議所会館	正装	理事	
	29日	木	FB 会員会議所会議		二本松	正装	理事長・専務	
	13日	木	例会 青少年委員会				全会員	

10月	7~10日		全国大会in東京		東京	正装	全会員
	6日	木	第11回理事会		会津青年会議所会館	正装	理事
	13日	土	例会 地域委員会				全会員
	15日	月	FB 会員会議所会議		いわき	正装	理事長・専務
11月	6日	火	第12回理事会		会津青年会議所会館	正装	理事
	13日	火	例会				全会員
	16~20日		JCI世界会議				
	26日	日	FB 会員会議所会議		白河	正装	理事長・専務
	26日	日	FB ブロック卒業式		白河	正装	全会員